大正九年十二月十四日第三種郵便物認可
新京日日新聞
夕刊　四月十五日
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 永越內之介

皇帝陛下御退京

關西御巡遊の途に上らせ給ふ

日滿親善史上輝しき御足跡

秩父宮と固き御握手

【東京國通並びに金久保特派員發】外國元首初の公式御訪問として我が皇室と歷史的交驩を遂げさせられ引續き前後十日間に亘る

帝都 の御日程を終へさせられた善隣滿洲國皇帝陛下には東洋平和日滿親善史上幾多の輝やかしき御足跡を遺させ給ひ十五日御退京更に關西御巡遊の途に上らせられた、此の日皇帝陛下には早朝御起床御入京以來御旅館にあてさせられた赤坂離宮に暫し最後の朝を惜しませられた上陸軍御通常禮裝に日滿大勳位副章御佩用の颯爽たる御英姿で自動車に召され林首席接伴員御陪乘、沈宮內府、宮尙書府、謝外交部各大臣、張侍從武官長以下隨員接伴員扈從自動車鹵簿で午前九時十分離宮御發沿道お名殘を惜しみ參らせて奉送の軍隊、學生、男女青年團、在鄕軍人其他各團体一般市民に御會釋を賜はりつゝ、東京驛に向はせられたが御召車が宮城前に差しかゝるや皇帝陛下には靜かに

頭を 垂れさせ給ひ皇居に御別れを告げさせらるゝかに拜された、これより先皇帝陛下御發車の東京驛第四ホームには岡田首相以下各國務大臣、牧野內府各前官禮遇、平沼樞府副議長近衞、濱田貴衆兩院議長、陸海軍大將、親任官、同待遇以上、並に御入京の際正式御出迎申上げた田代憲兵司令官、松平式部長官、小栗警視總監横山府知事、牛塚市長等及び特別緣故の芳澤元外相、宇佐美前滿洲國顧問及丁滿洲國公使以下館員同國官吏等何れもフロック、モーニング又は通常禮裝に儀容を正して整列、更に第三ホームには公爵以下宮中席次第三階以上の者及び滿洲國人等の中に特に許された德富蘇峰、頭山滿兩翁を初め岡村少將以下片倉少佐等も整列御着を待ち、次いで御沙汰に依り御見送りの晴れの御使命を帶びさせ給ふ秩父宮殿下を始め御見送りの各皇族方にも九時十分頃迄に御着中央御車寄より一旦牡丹の間に入らせられた、やがて九時十九分皇帝陛下

御着 あらせられるや秩父宮殿下には各皇族方と御一緒に御車寄に御出迎へマホガニー色に唐草模樣を散らしたアーム、チエアも美しく御新調申上げた便殿松の間に招じ給ひ、秩父宮殿下より御沙汰に依り御見送りの旨を述べさせられて親しく御握手、皇帝陛下よりも御答禮の御挨拶あり更に各皇族方ともそれぞれ御挨拶の後堀尾東京驛長御先導申上げて皇族方と御揃にて便殿を御出まし眞紅の絨氈を敷き詰められた御通路を御機嫌殊の外麗はしく軍樂隊の奏する滿洲國々歌の裡にホームに出でさせられ、岡田首相以下諸員に謁を賜ひ儀仗隊を御閲兵第三ホームに奉送の諸員に對しても御會釋を賜ひつゝ御召列車最後部の展望車に進ませられたかくて

此處 にて御見送りの秩父宮殿下と再び固き御握手に御名殘りを惜しませられつゝ愈よ最後の御別れの御挨拶を交はさせられ次で各皇族方とも御挨拶の後接伴員隨員を從へさせられて後部展望車に御乘車、再び起る滿洲國々歌の裡に同九時卅分御召列車は辷るが如く發車一路京都へと向つたが皇帝陛下にはいつまでもデッキに立たせ給ひ奉送諸員に擧手の禮もて御會釋遊ばさるゝのを拜するのであつた

（寫眞はけふの御旅館京都ホテル）

救恤と社會事業奬勵に 十五萬圓を御下賜

皇帝陛下の畏き御沙汰

【東京國通】御來朝以來日本朝野と御交驩遊ばされた皇帝陛下には十五日御退京あらせらるに當り御救恤並に社會事業奬勵の思召を以て十四日日本政府に對し十五萬圓御下賜の御沙汰があつた、仍つて十四日午後四時卅分吉田翰長は離宮に伺候し、皇帝に拜謁の上、優渥なる御言葉を賜り右御下賜金拜受の上感謝して退下した、尙岡田首相も特に午後五時卅分離宮に參上、宮內府大臣を經て御禮を言上するところあつた

官警當局者に 記念品御下賜

【東京國通】皇帝陛下には帝都御滯在中奉迎接伴御警衛等に當つた我が官警當局者御勞勞の思召を以て記念品を給はつた、岡田首相以下各閣僚に對しては一對の見事な銀製大花瓶を給はり其他各關係者には煙草入れ、御慰勞金等を給はつた

大川周明氏に 謁見の御沙汰

謹愼中謹んで拜辭

【東京國通】皇帝陛下には元東亞經濟調查局長大川周明氏の滿洲問題に對する功勞を思召され、御旅館で謁見を賜るため十二日丁公使をして此旨傳へられたが、氏は五、一五事件の被告として目下上告謹愼中の身であるので、この光榮を拜辭した

ストレーザ會議の成果 事務局より發表さる

【ストレーザ十三日發國通】ストレーザ會議事務局では十三日左の如く會議の成果を要約して非公式に言明した

一、フランス政府は來るべき聯盟理事會に對し英伊兩國政府支持の下にドイツの條約一方的破棄再軍備聲明に對する聯盟提訴を提出する

二、サンジエルマン條約を改訂しオーストリヤ、ハンガリー及びブルガリヤの再軍備を許容する

三、五月廿日ローマに於て中歐ダニューブ會議を召集、右會議に於てオーストリヤの獨立維持就中ナチスの干涉よりの保障方法を審議する

四、空軍援助協定に關する一般原則の協定即ち突然の侵略行爲に際し各國空軍に依る被侵略國援助

五、東歐ロカルノ協定の締結但し同協定の內容たる相互援助條約と不可侵條約とを切離し、ドイツ政府は不可侵條約のみに調印し他の協定三國は任意相互援助條約調印の自由を促進するものとす

以上は前後三日間に亘るストレーザ三國會議の總決算を記錄するものである、尙十四日の最終會議後正午頃會議全般に關する共同コンミユニケが發表される筈である

コムミユニケ

【ストレーザ十四日發國通】ストレーザ會議の總決算たるコムミユニケは十四日午前の會議で審議を終り同日午後公表されたが、右コムミユニケはストレーザ三國會談共同決議と寫されて居り大體左の如くである

英佛伊三國政府代表は去る三月十六日のドイツ政府の再軍備決定以來の數週間に亘る意見交換の結果につき並に最近の英國閣僚の歐洲首都訪問に際して獲得した情報を參照して歐洲全局の情勢を檢討した、而して三國代表は此現下の歐洲の情勢がローマ並にロンドンに於てそれぞれ到達された取決めに定められた方策に對する關係を考慮した後討議された諸事項に關し意見の一致したことを見出した即ち

一、英佛伊三國代表はフランス政府が國際聯盟理事會に提出した要求の討議に際して探るべき共同方針に關し意見の一致を見た

二、三國代表の得たる情報は東ヨーロッパの安全保障の進展の爲商議を續くべしとする三國代表の見解を確認した

三、三國政府代表はオーストリアの情勢を再檢討した結果オーストリアの獨立維持、領土保全の必要を承認した一九三四年二月十七日及び九月廿七日の英佛伊宣言を確認した右宣言は三國共同の政策として今後も維持し且鼓吹されるであらう

四、東ヨーロッパ平和機構の組織及び佛ソ條約に關する宣言

五、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、ブルガリヤ等戰敗諸國の再軍備問題

六、ドイツの聯盟復歸問題

七、軍備制限問題

日滿經濟會議 條約案の骨子

十三日參與會議で大体決定

【東京國通】對滿事務局では外務省から日滿經濟會議設置案の回附を受けたので十三日午後首相官邸に參與會議を開催、日滿經濟條約案に就て愼重審議を行つた結果大体決定を見たので、愈々近く南駐滿全權大使を通じ右條約案を滿洲國政府に提出、同意を求める事となつたが同條約案の骨子は左の如くである

一、目的　日滿兩國の經濟提携に關する重要事項竝に日滿合辨特殊會社に關する重要事項の審議

一、組織　日滿兩國から各四名の委員を出し之等八名の委員會と若干名の幹事を以て構成す、委員長は互選により決定す

一、權限　純然たる審議機關とし日滿兩國政府の監督下に置かれ兩國政府の提案を審議討審する

一、會議構成委員　日本政府委員關東軍參謀長大使館參事官、關東局總長及び對滿事務局次長
滿洲國政府委員總務廳長、財政部大臣、實業部大臣、外交部大臣

一、所在地　新京とす

「眞の日支經濟提携は 相當遠い將來の事」

―日本經濟界の觀測―

【東京國通】過般の蔣介石、汪兆銘氏等國民政府首腦部の日支經濟提携に關する聲明以來日支經濟提携の氣運は翕然として起り既に支那經濟界では代表を日本に特派して我が財界の日支經濟提携に關する意嚮を打診せしめ目下不況に沈淪せる支那經濟界の介添役を日本に求めんとしたが現在支那の各般の情勢より見て我が經濟界では兩國經濟提携を左の如く觀てゐる

今日迄の日支經濟提携の掛聲が實質的に兩國貿易にどの程度迄具現されたかを檢討するに經濟提携の氣運が生じて以來經過せる事實は未だ短期間に過ぎず之を統計に依ることは勿論困難だが兎に角國民政府當局の排日貨禁止の發令以來支那商人の日本品買付は公然と行はれることになつたのでこの日本品買付は多少增加することは想像出來る、然し滿洲事變の勃發以來日貨不買を繼續して來た上海七十の各同業組合は未だ不買決議を撤回するに至つてゐない事及び根强き排日貨思想の蔓延せる事より推して今後早急に日本品に對する買付の殺到する事は無理とされる、而して最近日本品の支那輸入の增加しつゝあることは相當顯著なものがあるが、之は日支經濟提携に依るものでなく近く實施されんとする輸入關稅引上げを見越した結果であつてこの增加現象を以て直ちに兩國貿易の好轉とするは早計である、而して今後支那に於て眞に日支經濟提携に目覺め日本の要望する如く農業國として棉花其他日本の必要とする原料品の生產に力を注ぐに至らば支那の經濟復興は必ずしも悲觀視する必要なく支那の對日輸出は增加し隨つて日本よりの對支輸出も增加する事は必至の勢であるが、現在迄のところでは兩國貿易が單に漸く正常な軌道に乘りかけたと見るが至當で兩國相互に好ましき經濟提携の實現を見るのは相當將來の事であらう

東歐ロカルノ條約に關する 獨政府コムミユニケ

【ベルギー十三日發國通】ドイツ政府は十三日東歐ロカルノ協約に關するドイツの公式態度を闡明する爲十三日長文のコムミユニケを發表した、大要左の如し

ヒットラー總統はベルリンに於けるサイモン外相との會談に於てドイツは東歐ロカルノ協約案に對し現在提案されてゐる如き形に於ては之に參加し得ない事を遺憾とする旨表明した、然し同時にヒットラー總統は侵略者を如何にして明確に證明するかの困難を强調し、然しドイツ政府は何れにしても侵略者を支持せざる一般的方策には參加の旨表明した、然し同時にヒットラー總統は東歐ロカルノ協約の如き集團的安全保障協約が相互的一般不侵略義務及び調停を基礎として作成され且又平和攪亂に際し協議手續きを規定するものであるならば應諾する用意ある事を言明した

ドイツ政府は現在と雖も依然ヒットラー總統の右言明に顯れた態度を堅持するものである更にベルリン會商に於てヒットラー總統はドイツ政府が全的たると個別的たるとを問はず自動的援助の義務を多少とも包含する協約案を受諾し得ない旨言明した一方に於て協力を廢除する不可侵條約乃至同樣のものを締結しながら他方に於て之が强化策として軍事援助義務を包含せしめるのはそれ自身矛盾でなければならない、從つてドイツ政府は歐洲に於る軍事同盟促進の氣運中には集團的平和への發展の要素を見出すことが出來ないのみならず平和の保障すらも見出さないものである、故にドイツ政府は斯かる軍事的義務を重要構成部分として包含する協約には署名し難いものである

ジムバリスト氏 再び來朝

【東京國通】世界的洋琴の大家ルビンシタイン氏の來演に依つて一大センセイションを起した我が春の樂壇に親日の提琴巨匠エフレム、ジムバリスト氏再來の快報が實現される事となつた氏は來る十九日サンフランシスコ發太平洋丸に便乘五月六日橫濱着で來朝同月八、九、十、十三、十四の五日間帝都に於て妙技を振ふ筈

戰區保安隊 改編問題解決

【天津十三日發國通】久しく紛糾の絕へなかつた戰區地帶の保安隊改編問題に關する最後的會議は十一日天津に於て日支委員會合の上開催され一切を決定した、即ち淸浦鎮滄州に於て蔓成せる約五千名の保安隊を五隊に編成し愈々近く戰區に編入する事となつたもので十二日儀我大佐、高橋大木兩少佐は殷汝耕、陶尙銘氏等と共に滄州に赴き檢閲を行ひ而して從來于學忠氏の統制下に置かれた保安隊は戰區督察專員の指揮下に移り于學忠氏の權限は喪失するに至つたが、之で戰區の保安隊問題は解決するに至つた

聯盟東京事務局 縮少の上存置

國際聯盟の日本脫退對策決定

【ジュネーヴ十三日發國通】國際聯盟では日本の聯盟脫退實現に伴ひ東京事務局を縮少存置するに決し、土田聯盟事務官を日本に派遣し改組手續を行はせる事となつた、土田氏は來る廿二日ジュネーヴ出發東京に向ふ筈である

後藤新京驛貨物 主任轉任挨拶

新京驛貨物主任後藤治基氏は大連本社轉任を命ぜられ十五日暇乞挨拶に來社

中銀佳木斯支行 永島氏駐在

滿洲中央銀行員永島勝介氏は佳木斯支行駐在を命ぜられ十六日出發赴任することゝなり十五日挨拶に來社

その日く

□御滯京十日、皇帝陛下御退京けふ關西の御巡遊に！京洛の風物擧げて御歡迎

□皇帝御歸朝を機に全滿で還御慶祝國民大會、包まざる日本の姿を認識せしむる好機

□國際聯盟東京事務局縮小の上存置、實力なき聯盟の出店有無は問題の外

□西公園あすから入場料徵收制度の是非はとまれ苦力の失せるのを喜ぶ

□日本人女を母に持つ日籍の上手に滿人青年集金を橫領、特技の用ひどころが惡かつた

人事往來

▲大島大佐（駐滿海軍部參謀長）十四日正午發奉天へ
▲齊藤中佐（關東憲兵隊司令部）十四日午後歸京
▲山田少佐（江防艦隊教官）十五日午前發ハルビンへ
▲川俣雄人氏（陸軍中佐）十四日午前來京名古屋ホテル投宿
▲太田種夫氏（滿鐵）十四日午後來京名古屋ホテル投宿
▲西坂己彥氏（大連會社員）同
▲大里甚三郎氏（滿鐵）同
▲大磯義勇氏（滿洲電業技術部次長）同
▲柴碩文氏（東京官吏）十四日午後來京ヤマトホテル投宿
▲吉田源三氏（大連會社員）同
▲野口龜松氏（神戶會社員）同
▲別宮秀夫氏（安東省總務廳長）同
▲バレンタイン氏（駐在奉天米國總領事）同
▲田中義英氏（最高檢察廳書記官）同
▲神鞭常孝氏（昭和製鋼所常務取締役）十五日正午發鞍山へ
▲野村富壽氏（大連鐵道部營業課審查係主任）十五日午前發大連へ
▲松尾正二氏（奉天鐵道事務所工務課長）同奉天へ
▲塘川泰雄氏（滿鐵々道工場檢查係主任）同沙河口へ
▲三宅誠氏（關東軍）十五日來京國都ホテル投宿
▲葛阪吉弘氏（哈市會社員）同
▲玉井覺氏（長崎會社員）同
▲川名猜一氏（醫師）同
▲山田鐵雄氏（海軍少佐）同
▲本田早苗氏（辯護士）同
▲水江寬之氏（ヘレーダビットソン會社員）同
▲諸岡顯義氏（撫順會社員）同
▲熊谷恭治氏（建築業）同

皇帝陛下御歸朝後
還御慶祝國民大會
五月十一日省公署所在地で

滿洲國皇帝御訪日終了後、日滿兩國最高の交驩を祝福し無事御歸朝を慶祝するために還御慶祝國民大會を開催、盛儀の意義を全國民に深く印象徹底せしめること となつた、目下の豫定は五月十一日(土曜日)午前中各省省公署所在地及び海拉爾の十一ヶ所で滿洲國協和會が主催となつてこれを行ふ、その要項は陛下御名代(なるべく扈從者から選ぶ)の御差遣を乞ひ聖旨の傳達を行ひ、祝詞賀表を捧呈する、參列者には記念として印刷物を配布、なほ講演會、映畫會、遊行[illegible]を行ふものである

皆さま西公園は
あすから入場券がいります
但し午前八時から午後十時迄
軍人、學生、小兒は不用

西公園ではいよ〳〵明十六日から午前八時以後午後十時までの入園者からは入園料金二錢づゝを正面入口、商業學校脇入口、關東軍參謀長官舍脇の三個所で徴收する、但し制服制帽の學生、軍人、及び小兒はとらぬ

日本語の巧みな
滿人集金人
集金を詐取

本籍山東省福山縣三十里堡生れ現住所祝町四丁目十三番地王維和(二八)は母親が日本人のため日本語が流暢なるところより公記飯店のボーイ兼集金の手傳をなしてゐるうち同飯店の得意先が日本人たるをよきことにいつの間にか勝手に電話を以つて宴會費用を催促しては自分で出かけて行つて集金し本年一月頃より約一千四百三十三圓四十六錢を集金橫領これを日本人側カフエー世界、滿人料理店、双玉班、艶春院、天順班、慶樂堂等にて酒色に費消したこと發覺十四日新京署日高刑事、馮巡捕、劉特別巡捕に捕はれ目下取調べ中である、尙王は七百一圓を所持してゐた

滿人質店に
拳銃强盜

十五日午前七時卅分頃城內東四馬路東盛發質店に二名の拳銃强盜が侵入し家人に向ひ「拳銃の音が聞へるまで顏をあげると射殺するぞ」と家人を脅嚇し貴金屬國幣取りまぜて約一千圓を强奪いづれにか逃走した屆出により首都警察廳では直ちに市內に非常線を張り犯人逮捕につとめたが未だ逮捕に至らない

上宿料が嵩み
服毒自殺

十五日午前一時二十分頃、市內中央通中央ホテルの表戶を叩く男あるを同旅館客引が發見、表へ出て見ると何か毒藥でも嚥んだか、苦悶してゐるので直ちに西公園派出所に屆け出で係官が調べるとしたゝか泥醉し苦悶してゐるので皆元醫院に擔ぎ込み應急手當を加へ生命はとりとめた、取調べると本籍朝鮮長城郡生れ郭韓奎(二十)で彼は「東京日日本敎育會北滿事務員」「滿洲發文社外交部」等の肩書ある名刺を振り廻し北滿方面で働いてゐたが本年始め頃新京に來り何等なすこともなく、ブラ〳〵してゐる中下宿屋に五、六十圓の借金が出來追ひ出される羽目になつたが出來ず仕事はなし厭世自殺を企て十四日日本橋通東洋藥房からカルモチン二十五グラムを買ひ求め他に燒酒を五十八錢程買ひ西公園池畔のベンチでこれを嚥下したが苦しみにたへず前記中央ホテルに救ひを求めたものである

寄附

新京師千島高司氏は泉頭轉勤に際し子女在學記念に西廣場小學校の父兄會へ金一封を寄附した

第十三回福民彩票
頭彩七六九九號
いづれも新京へは落ちぬ

第十三回福民奬券は本十五日城內總商務會樓上に於て開彩されたが頭彩より三彩迄何れも新京には落ちなかつた

△頭彩 七、六九九
甲(奉天王寶庭)
乙(ハルビン許安仁)

△二彩 一九、一六〇
甲(奉天程俊鵬)
乙(奉天夏殿容)

△三彩 七、一一七
甲(吉林單殿臣)
乙(奉天王家庭)

△四彩(廿三本)
二、三九八 四〇、三二五
一二、八四二 二九、一四〇
二〇、七七七 三〇、七四二
二五、五九一 八、七三七
二、三〇二 四九、六五二
三四、九四四 四〇、二七九
四四、九四四 二三、九四八
四四、九七六 八、六四三
四二、九三六 四九、七〇〇
四九、八六八 一四、二一二
四三、四八七 四四、五四八
二八、二八七

五彩(四十八本)
八一〇七 八六一一
二四二六九 三三三八〇
九五六 四一五八
二四六九三 一六七三
三一一九七 八八三六 一五九九六 三六七四二
二七一九二 四五三一三 四九五七九 三九二七七
一九二四三 三五二〇六 二二七一三 四一三九四
九八六八 二六一二四 三二五〇 三七三一六
二五七八七 七六〇五 八一〇 四四二七八
八七八四 四六四四三 二六三八一 四一七三九
三二六三四 七三六八 四四六一一 一三八四
三〇一一七 一〇五五〇 一八五一四 六六二四
九三二五 一一五一九 三九〇九一 三四一〇

新京武道界の
中堅の人々を語る(四)
感激の武將
新京商業學校柔道教師 ◇……山岡保孝先生

氏は富山縣の産、奧津中學を經て高師体育科に進み優秀の成績で昭和八年三月卒業、即ち藤原五段より一年先輩年も一つ多い四十三年の生れ、これよりさき二月一日富山卅五聯隊に幹部候補生として入營した立派な軍人の肩書をもつてゐる、昭和三年十一月富山縣事主催の北陸五縣中等學校柔道大會が藥事道場に舉行された時奧津中學の主將として出場、猛烈な大內刈で敵將二人を投倒し同中學が優勝した

◇

それからの氏の柔道界での活躍は華々しきものであり同年の富山武德會支部主催の武道大會が武德會に催されたトーナメント試合に得意の大內刈右左の拔腰で攻擊して有段者六名を倒し支部長より藤原國定の名刀一振を授與された、當時紙上で彼の人氣は素晴しかつた

◇

昭和五年十一月二段の頃講道館秋季紅白試合に二段六人を投倒し其場で三段に昇段講道館の春季紅白試合は五人以上投倒せば其場で拔擢と稱し昇段する規定になつてゐる、此の榮冠を獲得するものは幾人もない越えて六年十月の講道館秋季紅白試合に三段六人を破り七人目引分此時も其場で四段に躍進した山口、藤園の猛者と接戰したのは此時である

◇

氏の武勇傳中最も痛快なのは昭和七年春高師柔道部九州武者修業である、八幡製鐵と對抗の時だ、敵の三將五段、副將五段を苦もなく得意の大內刈で攻め崩上四方で組伏せ大將と引分け、高師軍優勝、續いて熊本遠征では高師軍十名に全熊本七十名對抗の熊本市武德殿に開催された拔勝負に十七名を投げる押へるで將棊倒し堂々高師軍快勝に決し觀衆を唖然たらしめた、同年五月宮中齊寧館に於ける御前試合には梅澤五段(警視廳ナンバーワン)を大打刈で倒したなど實に血湧き肉躍る壯觀である

◇

昭和九年五月滿鐵に招聘學務課に籍を置き大連道場柔道教師として社員及一般市民を指導し大いに業績を擧げた一方全學生、全鐵道選征の時は闘將として華々しく奮戰した、昨年九月第一回內外對抗柔道紅白試合が拓務省主催で梨本宮殿下の御台覽を仰ぎ神宮外苑で擧行せらる(內は本州四國九州北海道、外は樺太台灣朝鮮滿洲南洋廳)全滿洲より六名出場、淸水五段を大外刈で打倒す滿洲軍全部勝星となるも警視廳大坂等より猛闘士出場せる爲め內地軍の勝となる

◇

さすが体育科出でだけにラクビー、ボートは正選手、運動はなんでもやる趣味としては音樂で殊に尺八は奧儀を極めどうに入つてゐる、五尺六寸二十貫の均勢とれた堂々たるタイプの好男兒、氏は曰いばかりが武士でないをモットーの惻あり血ある感激の武將である今後の氏の活躍が愈々期待せらる

日本の誇り〝早川雪洲〟
愈よあす公演
一行百余名明朝入京

日本の誇り得べき世界的名優として名を馳せてゐる早川雪洲一行百余名の一座は既報の如く愈よ明十六日朝來京、同夜より三日間(毎夜六時より)に亙り本社後援の下に記念公會堂に於いて華々しく

蓋を

開けることになつたが、沿線各地に於ける白熱的好評から推しても既にその嘖々たる名聲を裏書きする十二分のものを期待し得ることが出來、地方興行に於ける上演脚本として選ばれた三つ、オスチンストロング原作雪洲自身の脚色演出になる「第七天國」、中野實原作、高峰明演出の「女優と詩人」、ダウイツト、ベラスコ、アルメツト、アブタラ原作、同じく雪洲自身の脚色演出になる「天晴れウオング」等何れも雪洲一座にとつては得意のものたるのみならず、映畫其他に於いてポピュラーな存在と馴染を重ねてゐるもので、あり、新京好劇ファンにも鑑賞され得べき性質のものである、前賣券の賣行きからして前人氣異狀なるものあり、盛況が豫想されてゐるが、一行は雪洲の他に三田照子、久保春二等の腕達者が顏を並べておりこれに照明班、裝置班等を引具し、舞台裝置等總て用意し內地劇場に於ける舞台効果その儘を現出しようとする地方巡業としては實に劃期的な試みである、久方振りでの見ごたえある新劇團の登場である、一夜の鑑賞に藝術的な昂奮を呼び起すのも

春宵

の値を增すものであらう(前賣券一圓八十錢、目下發賣中、會場拔二圓、學生軍人一圓、小人五十錢)

春の街に長蛇の陣
朗らかな大行列
けふ神社へ奉納の大鳥居
御出迎え式の賑ひ

新京神社に奉納の石の大鳥居玉垣、御手洗鉢の御出迎え式は豫定通り十五日午前十時までに氏子總代長武田地方事務所長をはじめ各區總代、役員以下お手傳ひの人々らいづれも男は黃の鉢卷、女は赤のほう冠りといふいでたちで、まづ武田總代長の挨拶についで總指揮役の鯉沼幹事から行進上の注意その他があり、同時四十五分室町「僕の店」井上氏(既報、井上刀劍店となりしは誤り)寄贈の花火を合圖に井上神官を先頭に武田總代長以下役員、稚子、屋台、婦人連、一般氏子の順序で最後に手綱取る手も朗かに荷車に積まれた大鳥居を始め、南嶺勇士の奉仕による自動二十四台がずつと列んで、三味太鼓も賑かに日出町から驛前廣場、中央通を經て新京神社へと向つたが、沿道はこの前後數町にわたる大行列を迎へて到るところ人の山を築き午後一時やつと先頭が神社境內に入つた

大防空演習に
防護團を編成
あす地方事務所で打合せ

來る六月中旬新京で擧行される大防空演習には地方側でも防護團を組織することになつて居り、附屬地では地方事務所、特別市內では市公署が中心に準備中で、地方事務所では十六日午後一時半から同所會議室で防護團編成に關する第一回打合せを開催することになつた

東洋オリムピック
久保田理事出席

既報＝來る二十二日東京で開催される東洋オリムピック專門委員會に滿洲國からは目下東上中の久保田聯盟理事が出席することに決定した

軟式庭球
コート開き成績

新京体育聯盟軟式庭球部のコート開きは既報如く十四日午前十時から西公園コートで花々しく擧行十六對六で紅組大勝し二時三十分終了後引續いて源平試合をなした、五對一で源組大勝三時四十分閉會した、成績續き左の如くである

紅		白
卷松(本園)	四―〇	白谷(川本)
加手(島藤)	四―〇	松中(本川)
空中(村閑)	勝不戰	引中(頭川)
折高(橋目)	四―〇	瀨松(川本)
西黑(澤)	四―〇	大城(木)
石野(村黑)	四―三	齊堀(部原)
一岸(川松)	二―四	草藤(崎)
若田(中林)	四―三	尾西(形村)
源		大竹(串內)
所高(目橋)	三―四	平卷(月園)
長山(興田)	四―一	植渡(邊本)
岸一(川松)	四―三	若田(中林)
加手(藤島)	四―二	樋石(川口)
西岸(串澤)	四―〇	空竹(閑內)
大梅(原)	四―二	小勝(林又)

春季第一次賽馬

開催日(勝馬票)金五圓也
四月 廿八日(日) 廿九日(月) 三十日(火)
五月 四日(土) 五日(日) 十日(金) 十一日(土) 十二日(日)
雨天順延 毎日午前十時開

社團法人 新京賽馬俱樂部
電話 事務所 二三二三、五五〇六番
賽馬俱樂部 五五〇七番

全新京野球部
會員券發賣

全新京野球部では本年度の會員券を十五日から渡邊、西山兩運動具店並に金泰洋行で賣出すことになつた會員券は六圓である

全新京野球
練習開始

全新京野球部では十四日午後三時から西公園球場で瀨川監督指揮の下に練習開始をなした

仙人掌

▲おでん屋戰線に陣を張る從業婦諸君を軍事見立てで紹介します▲曙町裏通りの「たぬき」此處に髮もポップに刈り上げた、まるまると肥つた子がゐます、殊に背中の下の方が偉大なものです、タンクと稱すべきでせう▲ダイヤ街の「天樂」此處に色白く細き眼をした子がゐます「君何處から來たの」「私、北海道から」「どうして又はるばる新京へ」「汽車に乘つて來たのよ」このやうに無邪氣です、少年航空兵の如きものか▲ミス新京の前を北に上れば「まるやま」此處にちよつと綺麗なひとがゐるです、そう、八雲理惠子に似てゐるやうだ、で從つてそう若い方ぢや無いやゝ古びたる巡洋艦かな……と廻つてるうちにもう看板ですからといふ事になりにけり

けふの銀相場

國幣對金票 [illegible]
鈔票對金票 [illegible]
國幣對鈔票 [illegible]
現大洋對鈔票 [illegible]

天氣と氣温

明日の天氣 西の風晴一時曇
日の出 午前四時五十五分
日の入 午後六時二十二分
月の出 午後三時五十六分
月の入 午前三時二十三分
けふの氣温 最高十一度八 最低一度七

新撰爆笑隊

辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

（禁上映上演）

現代篇　五八　小唄レヴュー（五）

「何にしても愉快な人物だね」

「先生、まだ浮れて何か唄つてやしないか。」

成園、耳をすませば、列車の進行に伴れて彼の醉が斷續してゐる

一度なりたや、野球の選手
皆のデッドボール、雨ほど受けて
絶對打たいホームラン、ホームラン

黒田老人はじめ、彼の同僚は大抵同じ車室に乗り合せてなるべく彼と同席しないやうに心掛てゐるといふのは、陳腐なる俗謡までも同じ人種と思はれるのが、身を切られるよりも辛いのだとか……彼に限りし樣子は、愛夫聴吉

の見送りを濟ませると、夕方彼の歌ふ唄、門口に佇んで、

晝間せまれば、憐みは涯なし
みだるゝ心に、うつるは誰が影

と「君戀し」を唄ふまで、格別用事もないらしく、黒柱をサクサクと踏みしだき、得意の舞舌を以て近隣を撹亂して廻るのである。

「あの時はほんとに大藏大臣が憎らしいと思ひますわ。お役所で百圓以上二割引なんてことになりますと當然會社でもさうなりますでせう。――自宅ではあんなですけれど、あれで何處かいゝ處があるとみえまして、月給が丁度なので御座いますのよ。」

相手が同じ會社に勤めてゐないから、暴露る心配なしと氣を許してか、彼女はお手盛りでわが亭主の月給八十圓に時代の潮流に逆らつてまでも、二割五分の増額を施し行てゐるではないか。

「結構ですわね。主人などは一向に才能がないものですから、昇給を取る時に昇らないで困りますわ。その時、子供は遠慮なしに大きくなるばかりで……」

「でも、お樂みでせう。森さんの家、まア如何でせう――五人。あれで五圓缺けるのですもの、お氣の毒みたいね。」

「さうですか、彼方は九十五圓？」

「えゝ、それから川崎さん、あのロイド眼鏡の、彼が七十五圓――失禮ですか、山田さんは？」

「お恥かしいんですのよ。ほほほ。」

「あら、狡いわ、私にばかりお喋舌させて……」

「だつて、ほんのぽつちりなんですもの、いくら儉約しても足りませんわ。」

「そんなことないでせう。――それはさうと、その儉約で想ひ出しましたが、奥さん、斯んな唄、御存じ？」

錦紗お召を、さらりと脱いで、
ソヂヤナイカ、今日は木綿の
ソウヨ、ダンゼン
主と揃ひの肌ざわり
時世時節ぢや、手をとつて
へ、緊縮しようよ、緊縮しよ

「まア、いゝお唄ですこと――私、些とも外へ出ませんので、何にも存しませんのよ。」

「これ、西條八十先生のお作りになつた緊縮小唄――あの人に似合はない不景氣な唄ね。でも、時世時節ぢや仕方がありませんわ。ほほほ……私もボーナスの時すつかり考へちやいましたの。呑氣なことばかりいつては居られませんから、主人さんがラクダのシャツを買ふといふのを、斷然國産綿のコットンで我慢させましたわ。」

「何方さんでもねえ……」

「さうかツて、まさか木綿のメリヤスも可哀想ですしね。」

ラヂオ

十六日（火曜）　新京

（午前之部）

- 六、〇〇　ラヂオ體操（滿語）
- 六、一五　ラヂオ體操（大連）
- 引續き　入港船の御知らせ（大連）
- 六、三〇　中等滿語講座（大連）講師　秩父固太郎
- 七、〇〇　中等日語講座（奉天）講師　近藤喜助
- 七、二二　朝の音樂（大連）
- 八、三〇　經濟市況（東京）
- 九、四〇　經濟市況（大連）
- 一〇、〇〇　料理獻立（奉天）
- 一〇、二〇　經濟市況（大連）
- 一〇、四〇　經濟市況（東京）
- 一〇、五九　時報（東京）
- 一一、〇一　經濟市況（東京及大連）
- 一一、四〇　ニュース（東京）

（午後之部）

- 〇、〇一　經濟市況（大連、引續新京）
- 〇、三〇　ニュース
- 〇、四〇　ニュース（滿語）
- 〇、五〇　演藝（レコード）（滿語）
- 二、〇〇　經濟市況（大連）
- 二、二〇　成人講座（滿語）（哈爾濱より）五行性理　廣江道德分會　朱春榮
- 二、四〇　日用品値段（滿語）
- 二、五〇　經濟市況（東京）
- 三、〇〇　ニュース（東京）
- 三、三〇　經濟市況（大連、引續新京）
- 三、五〇　ニュース
- 四、三〇　ニュース（鮮語）
- 四、四〇　演藝（鮮語）
- 四、五〇　ニュース（英語）
- 五、〇〇　子供の時間（奉天）お話忠犬ハチ公　高千穗小學校長　伊豆井敬治
- 五、二五　氣象通報、番組豫告
- 六、〇〇　ニュース（東京）
- 六、二〇　政府公報（滿語）
- 六、三〇　國民の時間（滿語）
- 七、〇〇　山梨縣の夕（奉天より）（東京）
- 八、一〇　連續ラヂオ小説（東京）白旗姫物語（一）村松梢風作　村田嘉久子　汐見洋
- 八、三〇　時報、ニュース　森英次郎
- 八、四五　引續き　ニュース（東京）ニュース、經濟市況（滿語）
- 九、〇〇　氣象通報、番組豫告
- 奉派大鼓（奉天）
- 一、鋼公案　唱　高長清　司鼓　徐魁
- 二、寧武關　唱　高亜玉　司鼓　馬岳山
- 一〇、〇〇　北滿の時間（露語）（哈爾濱）
- 一、講演　エンゲリフエリド　ソ聯邦行政組織に就て
- 二、レコード
- 三、ニュース

ラヂオの御用は　東京無線　電四九二〇番

四月十六日　火曜　舊三月十三日　壬戌　佛滅　破　室宿　日出六、〇〇（？）

- ●一白の人　驕奢を戒しめ他事に手を出ださず守るべし　丙と庚と壬が吉
- ●二黒の人　獨斷專行に誤りを生じ易し目上に問ひて吉　甲と丙と癸が吉
- ●三碧の人　我意を通さず人を容れ人にも容れらるべし　丙と庚と癸が吉
- ●四緑の人　悦びも束の間に消へて爭ひと變じ易し注意　庚と乾と癸が吉
- ●五黄の人　心を八分に配り進むこと序あれば無事なり　甲と乙と丙が吉
- ●六白の人　事の大小となく密かに心を配りて進むべし　巽と■丁士か吉
- ●七赤の人　計畫は小なりとも追々大なるものと成らん　巽と丙に癸が吉
- ●八白の人　糸の縺れを解くが如く氣を永く構ふべき日　卯と士と癸が吉
- ●九紫の人　幸運無二の日起業開店等取り分けて吉なり　庚と辛と丑が吉

お酒は慶典

新進青年手合【其十】

先番　高川格（二段）　瀬川良雄（二段）

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

（五）粘ぐ

- ○九十　たノ七　　○九四　ぬノ七
- ●九一　かノ九　　●九五　りノ十五
- ○九二　ほノ十二　○九六　をノ九
- ●九三　ぬノ八　　●九七　をノ十
- ○九八　るノ十
- ●九九　をノ十一
- ○□　わノ九

六段　久保松勝喜代講評

白九十は好點であつた。白は上邊で四目取られたが、左上隅及び九十の邊が堅まつたから、現在は決して悲觀する必要はない。

黒九一を怠ると白（い）黒（ろ）白九一と打たれる。

白九二は黒から（は）に頂け、（に）黒（ほ）白（へ）黒（と）と綴られる手や、黒（に）と打ち白（ち）黒（は）白（り）黒（と）白（ぬ）黒（る）白（を）黒（へ）白（わ）黒九二白（か）黒（よ）と打たれる手等を防いだのである。

黒九三は（た）の突き出しを含む先手である。白九四は其の防ぎ。

黒九五は自己の模樣を張る。今度九六と飛ばれては、黒の模樣が益々大きくなるから、白は九六と消したのである。

黒九七と頂けて大きく圍ふ。此の手を（れ）は此の場合緩い。白九八と跳ねたのに對し、黒九九と打びたのは當然。白自の喫暮りは正確。

日本品の中南米進出阻止 對日輸出に惡影響

策動に對する外務當局意向

【東京國通】最近日本商品の中南米諸國進出に就き之を阻止せんとする運動が米國當業者の方面に行はれつゝあるので外務當局は頗る注目を拂ひ對策を考究中であるが右に關し十三日非公式に大樣左の如き見解を表明した

一、最近本邦商品が中南米方面にその販路を擴張し來つた爲同方面に關係を有する米國當業者中には右本邦品の進出を目して自己の市場を奪ふものなりとの杞憂を抱き本邦品の中南米諸國への流入阻止運動をなすものあるを見るに至つた

一、然るに最近に於る本邦品の中南米諸國への進出は主として我國民の販路の擴張と技術の改良とに對する絶えざる努力に基くものでその何等不正競爭等の事實なきのみならず、之を數字的に見るも一九三四年度に於るラテンアメリカ諸國全體に對する輸出總額は約三千萬弗にして今年度に於る米國の總輸出額約二億一千六百萬弗に對し僅かに一割三分強に過ぎず、且米國の同年度の輸出額は前年度に比し増加を示してゐるのであるから、旁々本邦品が米國品を壓迫して進出しつゝあり等の非難は當らぬ

一、米國商人が中南米諸國に於てその額に於て比較にならぬ程小額の本邦品排斥を試みるが如きは現在の不況を益々深刻化せしむる外何等効果なき拙策なるのみならず右地方の本邦品輸出阻止の結果は本邦購買力就中中米棉の購買力に影響を及ぼし延いては米國の對本邦輸出も亦自然惡影響を受くる者のとみられる

關東州附屬地に適用の度量衡取締規則公布

關東局では關東州及南滿洲鐵道附屬地度量衡取締規則を制定五月十五日より施行する事となり、本十五日右規則が公布された

右規則は七章及附則、百十二ケ條より成り、關東州の現制度を基調とし之に日本内地及滿洲國の制度を參酌加味し相互の緊密なる連繋協調の下に運用を圓滑ならしめ、以て度量衡制度の完璧を期さんとするもので、内容は左の如くである

（イ）現行關東州度量衡取締規則を骨子とし之に日本内地及滿洲國の制度を加味す

（ロ）追加又は改正すべき事項中主なるもの左の如し

甲追加事項

A、取締を受く可き計器の種類に關する事項

取締を受く可き左の種類のものを加ふ（第三條及第四條）

一、計量器（晴雨計以外の計壓器、浮秤物体の膨脹による温度計、乳脂計）

二、化學用量器

三、水量メートル

四、ガソリン量器

B、尺斤法度量衡に關する事項

滿洲國にては尺斤法を主制としメートル法を補制とするも我行政權内に在る關東州及滿鐵附屬地相互間に於て各其制度の基調を異にするは之が統制上並に度量衡制度本來の目的に副はざるのみならず、一面將來滿洲國の本制度をメートル法を主制とする樣改めしめて彼我制度の基調を同一ならしむ可く誘導するの必要ある等諸般の事情に鑑み妥當の策に非ざるを以て右管内兩地域内にては原則として日本内地の制度に則れる關東州の現制を基調とし、滿洲尺斤法はその地理的關係上單に滿鐵附屬地内のみにて當分の間之を認めんとす（附則第九十八條）

C、營業許可に關する事項

計器の製作、修覆又は販賣の營業許可の外新に業とせずして單に計器の製作又は修覆をなす場合に於ても許可を必要とし、許可に關する規定は公務所に適用せざる旨規定す（第十九條）而して實際上管内に於る計器の製作修覆及販賣（卸賣）は滿洲國の計器專賣制度援助の爲滿洲計器股份有限公司一社のみを許可し既存營業者は全部同公司をして買收せしめ爾後新規のものは一切許可せざる樣運用する方針なり

D、檢定の有效期間に關する事項

水量「メートル」及ガソリン量器の檢定には有效期間を附す（第四十一條、第四十八條）

E、定期取締の免除に關する事項

定期取締の際提出するを要せざる計器の種類中に左の二項を加ふ（第七十條）

イ、水量メートル及ガソリン量器

ロ、大使の指定したる計器

F、自治取締に關する事項

民間の大規模企業者等にして部内に度量衡に關する專門技術者を常置し計器の檢査上必要なる設備をなして定期又は隨時に自家用計器の檢査を施行しその使用及保管の成績良好なるものあり之等に對しては官の定期取締を省略し、その自治的取締に委せて適當に之を監督する事により取締の目的を達し得るもの尠からず、よつて内地に在りては從來府縣令を以て本制度を實施し關東廳及數年前より滿鐵會社に對し認め來れるも之が法令の根據なきため、不便を感じつゝありたると將來該當者數漸増の情勢に鑑み此際之を明規せんとす（第七十二條）

G、商品の正味量の表記に關する事項

イ、大使の指定したる商品に付正味量の表記を強制すべき旨の規定を設く（第七十四條）

ロ、正味量の表記の更生又は消去に關する規定を設く（第七十八條）

ハ、計器又は物品の提出命令に關する事項（第七十九條）

I、本令の罰則の適用を受けざる者の違法行爲處罰に關する事項（第九十二條）

J、公務所に對する本令の罰則適用除外に關する事項（第九十三條）

乙改正事項

A、度量衡の名稱中メートルを公尺、キログラムを公斤リツトルを公升と併稱する規定及中斗に關する規定を削除す

B、身元保證金に關する事項

一、度量衡法施行令第四條に倣ひ製作する計器の種別に從ひ保證金の増額をなす（第廿二條）

二、同第四條に倣ひ身元保證金の供託は計器の製作許可の場合のみに限り修覆に付ては之を要せざる事とし削除す（第廿二條）

C、檢定免除に關する事項

度量衡法による檢定證印ある輸入計器に對する檢定の免除は大使の指定する計器に限定す（第四十二條）

D、計器構造規定を分離して單行令とす（一般計器と特殊計器の二種に分つ）

E、罰則に關する事項

處罰は左の四種の刑罰を以てす

一、一年以下の懲役又は二百圓以下の罰金（第八十四條）

二、百圓以下の罰金又は科料（第八十五條）

三、五十圓以下の罰金又は科料（第八十六條）

四、拘留又は科料（第八十七條）（第九十二條）

丙經過規定

A、慣用計器の使用猶豫期限

一、從來慣用の度量衡又は計器の單位（尺貫法、ヤードポンド法メートル法の一部及計量の單位の一部）は特に指定したる事務又は事業者を双方の當事者とする場合は昭和十七年七月卅一日迄（本令施行より七年後）其他一般の場合は昭和廿二年七月卅一日迄（本令施行より十二年後）之が使用を認めしむ（第九十六條）

二、滿洲人相互間の慣用計器の使用猶豫期限滿鐵附屬地に於る滿洲人相互間の從來の慣用計器の使用は昭和十四年二月廿八日迄（本令施行より四年後）本令を適用せざる事とす、關東州内は既に現行規則により猶豫期限滿了し居れるに付其まゝとす

B、慣用計器の檢定に關する事項

從來慣用計器の檢定は昭和十七年七月卅一日迄之を行ひ其の檢定效力は昭和廿二年七月卅一日迄有效ならしむ（第百三條）

C、本令施行前に製作輸入したる試量器の販賣使用所持猶豫期限

本令施行前關東州に於て製作又は輸入したる計量器は檢定を受けざるものと雖昭和十年十月卅一日迄之を販賣し又は販賣の爲所持することを得、又昭和十一年十月三十一日迄使用又は所持することを得しむ（第百一條）

D、營業者に關する事項

一、現行規則に依る度量衡器營業免許の效力現行規則に依る關東州内の度量衡器の製作、修覆又は販賣の免許は其の免許の種別に從ひ本令施行後の殘存期間中仍ほ其の效力を有せしむ

又本令公布前度量衡器の製作免許を受け又は其の免許の出願をなしたる者の身元保證金の額は從前の通とす（第九十九條）

二、本令施行前よりの關東州内の計量器營業者及滿鐵附屬地内の計器營業者に對する無許可營業猶豫期限は昭和十年十月三十一日迄とす（第百條）

武部司政部長談

今回關東州及び滿鐵附屬地の度量衡規則制定に際して武部司政部長は左の如く談話した

今回關東州及び南滿洲鐵道附屬地度量衡取締規則の公布を見、來る五月十五日より施行せらるることとなつたが、從來當地方に於て使用せる度量衡は頗る不統一にしてメートル系、尺貫系、ヤードポンド系、支那系及びロシア系等錯雜多岐に亘り不利不便甚大であり之が統制は多年官民共に熱望してゐた所である、仍つて關東廳に於ては昭和二年日本内地の制に則り之が根本的改正を斷行しメートル法を基本とする現制に依り大連に權度所を設けて其の取締に任ぜしめ今日に及んだが當局は關東州及び滿鐵附屬地を一丸として關東州の現制を基調とし更に日本内地及び滿洲國の制度を加味して本規則を制定し茲に彼我相俟つて滿洲に於る度量衡制度を確立するに至つたものである

而して本規則の舊規則と相異せる要點は新に（一）計量器及び學用量器等を追加したること、（二）自治取締を認めたること、（三）滿鐵附屬地に對し當分の間滿洲國尺斤法度量衡器の使用を認めたること、（四）計器の構造に關する規定を分離し單行令と爲したること、（五）從來慣用度量衡器の使用猶豫期限を特に指定したる特種事業と其他一般の場合とに區別したること等で他は殆ど其の軌を一にしてゐるが、尚奉天は權度所支所を新設して附屬地内の取締に當らしめんとしてゐる

斯くの如くにして多年區々不統一なりし滿洲の度量衡制度も今や整然とした統制せられ度量衡制度の理想に一歩を進め得たのは洵に欣快とる處で之が實現の一日も速からんことを切望する次第である

全滿に發賣

精塩正味五百瓦入小袋 吉黑權運署て

吉黑權運署では鹽價低減に依る國民負擔の輕減をモットーとして精鹽普及に腐心しつゝあり本年一月より長春鹽倉を通して正味五百瓦入小袋の發賣を試みたるに意外なる好評を博したるに鑑み今回之をハルビン、吉林、チチハル其他全滿各地に於て發賣を開始すべく目下準備中である

尚右精鹽は内地或は外國製テーブル、ソートに比し何等遜色を認めざる優良質のもので從來一般家庭が原鹽のみを消費して、精鹽を顧みなかつたのは精鹽販賣、鹽價低減の事實を知悉せざるに依るもので今回小袋の發賣は鹽務行政の普及徹底に一大光明を齎らすものと見られる

大連經濟觀照（三）

岡本理治

金銀比價が激動するものであり、中央銀行が國幣を銀に連繫するのに努力し、滿鐵が國鐵、北鐵等の運賃を國幣にて收納する限り、滿鐵は貨幣價値動搖による危險に曝露さることは、武部氏の意見を是認せねばならぬと信ず、滿鐵の如き特殊使命を有せる大會社が斯る危險の下にあることは、戒心すべきことである、之を防禦する途なき乎、私は其對策は中央銀行の作用に待つ外なしと想ふ、然らば、其作用とは如何

×

關東軍司令部が尙未だ奉天に在る時分に、私は一日、同軍の經濟顧問なりし鈴木穆氏を訪ねた、私は同氏に次の如く謂つた

×

『此頃、中央銀行の紙幣を日本圓と同一價値とし、幣制の改革を謀ると謂ふ風評があるが眞實なる乎、私の意見としては奉天票等は不換紙幣でありし故、是れは金本位でも銀本位でもない、其れ等より離脫せる紙幣本位である、故に現在日本圓が紙幣本位の實質に在る以上、此等紙幣間に適當なる比率を設定し、其れの維持に、中央銀行をして當らしめば宜敷かりしので、銀本位を論つた紙幣にする必要はなかつたと想ふ』

×

之に對し鈴木氏は『關東軍の意向は新聞等に明示されし如く、將來は日本と同樣の貨幣制度に往くのを目標とする、現在銀本位を論ひ居るのは、現下の政治的思惑によるものである、新幣制樹立の當時滿洲に貨幣金融に關するエキスパートが居なかつた、若し居たならば貴君の謂ふが如く奉天票等は紙幣本位にて金銀幾れにも關連なき通貨なりしと想ふでなければならぬと、自ら責任を負はねばならぬ事を殊更に敢えてしてゐる如斯馬鹿者は中央銀行の重責を擔ふ價値なきものである、貴君往きて山成に斯く傳へ』と謂つた、私は少々驚駭した、然し私は鈴木氏にも山成氏にも恩怨なき爲め、斯る喧嘩の中へは這入らなかつた、然し翻つて考ふるに、鈴木氏の言は、鬆鱗なりと雖も、相當眞理があると想ふ

×

昭和七年滿洲國の貨幣法が公布されし際私は次の如き書面を中央銀行の山成氏に送つた

『今般貴方に於て、幣制金融に關する御立法有之御盡勢の程多謝の儀に御座候、該三種立法に就きては、貨幣法が根底と相成り居り候事と存候が、該法に於ては單位の銀純分、紙幣を無制限法貨とする事、並に正貨準備三割以上保有の事を規定せるのみにて、紙幣と銀純分が等價に維持さるべき機能に就き、何等規定無之斯くては「カナメ」を欠きし扇子の如く、貨幣法殊に金屬貨幣説に固着せる立法としては、形態を喪失せるものと存候、從て假令第二條が存在するとも、此貨幣は紙幣本位のものとして外機能をなさず、銀本位とは離れたるものと存候云々』

×

北米合衆國の銀政策の影響を受けて、私の杞憂せし事實は起つた、正金の鈔票も現大洋との間に十圓の開きを生じ、國幣と現大洋との間に二三十圓多きときは四十圓の開きを生じた、今中央銀行は是れが防禦策に努力しつゝあるらしきが、是れは勞多くして、効少きことゝ想ふ、且つ國幣發行增加によるインフレの結果如此耗したと辨解せるらしきも如此はなさざるを宜しと想ふ故鈴木氏の言句の中に在る眞理に反省して、法制は兎も角として實際の必要上日本圓と連繫を取ることとし、冥々の間に、滿洲國民衆をして片意地なる銀要求より脫却せしめ、日滿間に實質的に貨幣同盟を結成せしめ、日滿經濟ブロックの圓滑を期すべきである斯くなれば、滿鐵の危險も消滅され、銀研究委員會の必要も自然に無くなることゝ想ふ、之をなすのは主として中央銀行の日系重役の責務であると想ふ（了）

（昭和十、四、七稿）

商況欄（四月十五日前場）

海外經濟電報（四月十五日）

品目	相場
倫敦銀塊	三一片一六分五
同 遠限	三一片八分三
紐育銀塊	六八仙二分一
孟買銀塊	七三留比八分五
スチール株	三一弗四分三
アナゴンダ株	一二弗八分七
米英爲替	四弗[illegible]仙〇〇
米日爲替	二八弗四七仙
米支爲替	三八弗七五仙
英日爲替	一志二片一六分三
英支爲替	一志七片二分〇
英米爲替	四弗八四仙八分三
印日爲替	本日休會

▲米棉

限月	相場
現物	一一仙九五
五月限	一一仙六六
七月限	一一仙七五
十月限	一一仙四〇
十二月限	一一仙四七
一月限	一一仙五三
三月限	一一仙五九

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二三六留比
オームラ	二〇六留比
ペンゴール	一三七留比

▲市俄古小麥

限月	相場
五月限	一弗〇仙八分七
七月限	一弗〇仙四分一
九月限	一弗〇仙四分三

▲カルカツタ麻袋
青筋 鐵筋 本日休會

金銀市況

●上海標金 昨引 本寄 步 [illegible]
●大連金鈔票 現物 寄 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向 第一回 第二回 第三回 第四回 賣買 [illegible]
▲倫敦向 第一回 一志七片 第二回 一志六片 第三回 [illegible]
▲紐育向 第一回 三八弗 第二回 三九弗 第三回 [illegible]

▲大連爲替
▲上海向 [illegible]
▲煙台向 [illegible]

▲阪神日米爲替 第一回 賣買 [illegible]
▲阪神日英爲替 第一回 賣買 未着

●大連鈔票銀大洋 現物 [illegible]
●奉天國幣金票 現物 四月廿八日限 [illegible]
●奉天國幣鈔票 現物 四月廿八日限 [illegible]
●哈爾濱國幣金票 現物 四月二十七日限 五月十三日限 [illegible]
●安東國幣金票 現物 四月廿八日限 五月十三日限 [illegible]

式株相場

▲大阪株式（短期） 大鐘新 東新 日産新 寄 引 [illegible]
▲大連株式（短期） 五品新 豆鈔新 銭鈔新 東新 鐘産新 日鐵新 滿二新 寄 引 [illegible]
▲奉天株式（短期） 滿取 東新 鐘新 日産新 大新 五品 豆新 滿鐵 二新 寄 引 [illegible]

商品市況

電甲 同乙 東拓 東亞 日晉 滿興 滿毛 優先 [illegible]

▲大阪綿糸 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 寄 引 [illegible]
▲大阪棉花 當限 先限 [illegible]
▲大阪人絹 當限 先限 [illegible]
▲神戸豆粕 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]

特産市況

●大連大豆 袋込 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]
●同 豆粕 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 [illegible]
●同 豆油 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 [illegible]
●同 高粱 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 [illegible]
●哈爾濱大豆 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]
●同 小麥 五月限 六月限 七月限 [illegible]

新京取引所況市（四月十五日前場）

●大豆 現物（一石値段） 定期（混合百斤値段） 寄 引 出來高
現物 四月限 五月限 六月限 [illegible]
●高梁 七月限 八月限 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]
●鈔票對金票 二十八日限 十三日限 寄 引 出來高 [illegible]
●國幣對鈔票 二十八日限 十三日限 寄 引 出來高 [illegible]
●錢鈔 國幣對金票 鈔票對金票 國幣對鈔票 現大洋對鈔票 [illegible]

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

歸任途上の大田大使
日ソ問題打合せ
けふひかりで來京南司令官と
外相案を中心に

歸任の途にある大田駐ソ大使は十六日午後九時ひかりで新京に立寄るが十七日正午官邸に於て南軍司令官大使と會見・午餐を共にしつゝ東京より携行した廣田外相よりの日ソ問題に關する重要訓令を中心に種々打合協議が行はれることゝなつた

日ソ漁業條約改訂
豫備交渉開始！
酒匂代理大使ソ聯へ提議

【モスクワ十五日發國通】駐ソ大使館代理大使酒匂秀一氏は十四日午後外務人民委員部を訪問、本省よりの訓令に基き日ソ漁業條約改訂豫備交渉の開始を申出でた

右申出での結果同條約改訂の豫備交渉は數日中に酒匂代理大使とソ聯外務人民委員部との間に開始されるに決定したと確聞する

"治法撤廢には
國内の完備が必要"
＝井野英一氏の船中談＝

【大連國通】治外法權撤廢期促進の爲滿洲國に於ては之が準備に必要なる國内諸般の設備の整備を急いでゐるが、特に司法立法方面に關しては日本内地より優秀なる司法官を相次いで招聘する事となり、先づ最高法院長として日本法曹界の最高權威たる大審院長判事井野英一氏は發令以來一ケ月間を經た十五日午前七時二十分入港のうらる丸で來連船中語る

出發に先立ち九日に送別宴を張つて頂いたが席上參事官に御會ひし治法問題について話し合つた、日本側の治外法權撤廢委員會は成立以來未だ三回目の招集を見ただけであるが、撤廢期に關する可及的速かなる實現には賛成のやうであり、撤廢期に就ても大綱的決定は見た模樣である、滿洲國側としても撤廢の一日も早からんことを期待する限り國内諸施設の完備に力を致す事が必要で、日本から司法官を招くのも之が爲で今回は自分以外にも大審院から三名、其他二十名の司法官が近日中に來滿して來るとの事だ

支那各地の
排日運動狀況
在支總領事會議の報告

【東京國通】十一日より十三日迄三日間に亙り上海に開かれた在支總領事會議は各地に於ける排日運動の狀況、支那側排日取締り訓令發令の狀況等に關し各總領事より夫々現地の報告を爲し、之が今後の對策に就き協議を遂げたが、十三日有吉公使からの外務省宛電に依れば現在の排日運動の狀況は大要左の如くである

一、從來特に排日運動の激烈でなかつた北支那の（河北山東）北平、濟南、青島諸都市に於ては最近特に新たなる變化もなく平穩無事である

二、長江沿岸、天津、福建の諸地方は漸次排日的空氣が改善され日貨取引きも憚かるところなく開始されつゝある然し上海の市商會及び同業組合の排日決議は未だ撤回されず、且つ經濟的不況の原因もあるが日貨取引の成績も充分でない事情にある

三、西南地方は南京政府と對立してゐる政治的關係もあるので今日尚排日の空氣が濃厚であるから警戒を要す

皇帝陛下御機嫌麗しく
京都へ第一歩
洛東の花霞み歡迎の渦中へ

【京都國通至急報】親しく帝都を御訪問、日本皇室をはじめ官民と御共に日滿親和の實を擧げさせられた皇帝陛下には、御機嫌麗はしく御滯京中の

日程

を終へさせられ更に關西各地を御巡覽あらせらる可く駕を西に進めさせられ、十五日第一歩を山紫水明の地京洛に印せられた、明邦の若き君主を御迎へする京都は全市を擧げて奉迎氣分に湧きかへり、東山愛宕、比叡の山々は紫雲に包まれ、瑞氣早くも立ちこめてゐる、驛前から御宿舍たる洛東山山麓都ホテルに至る御沿道兩側は、男女中等學校、小學校生徒、在郷軍人、青訓生國防婦人會員其他の奉拜者で埋め盡され、御着の一時間前には一般の交通は遮斷された一方驛構内は隈なく清掃され

打水

の跡もすがすがしく午後五時半頃には鈴木京都府知事、淺山京都市長、田中京都商工會議所會頭、澁谷〇〇留守司令官松井京大總長、森田宮内省内匠寮出張所長、久保田京都地方裁判所長、三木檢事正、各宗派管長及び門跡其他宮中席次第三階以上有資格者百二十餘名が各々禮服姿に威儀を正し第二ホームに整列して御待申上げたやがて時刻迫り一同襟を正して場内粛然たるうちに定刻午後六時日滿兩國旗を先頭に揭げた御召列車は徐ろに進入してピタリと停車すれば皇帝陛下にはカーキ色の陸軍御通常禮裝の日滿大勳位副章を佩びさせ給ひ、些かの御疲勞の御氣色もなく御英姿颯爽と御召列車より降り立たせられ沈宮内府大臣始め各隨員林首席接伴員を隨へさせられて歩を進めさせられホームに奉迎する前記諸員に御鄭重な擧手の禮を賜はりつゝ日淺大鐵路局長の御

先導

で便殿を御通過貴賓御車寄より濃色塗りの宮廷自動車に召され林主席接伴員御陪乘申上げて驛御發、略式鹵簿は烏丸、四條、河原及び三條の各通りを進み、皇帝陛下には沿道に日滿兩國旗をかざして奉迎する奉迎者に絶へず御微笑をたゝへさせられ御會釋を賜りつゝ今日の光榮に一入うるはしい洛東の花霞の中を同十分坊城接伴員その他御出迎へ申上げ御旅館都ホテルに御着遊ばされた

今日參拜の桃山御陵

京都市各催し

【京都國通】滿洲國皇帝陛下を御迎へした京都全市は擧げて歡喜にひたり各方面に於て日滿親善を標榜した各種催しが行はれる即ち

JOBKでは午後五時四十分より京都驛及び驛前に新設されたマイクを通じ皇帝陛下御到着の御模樣を放送又八時よりは近畿特輯の夕べを催し、京都高等女學校生徒合唱團及び神戸混聲合唱團の奉迎歌其他唄、舞樂を放送する

京都府國防婦人協會では十五日午後七時より堀川高女に於て日滿親善大講演會を開催高女生徒の奉迎歌合唱あつて後菱刈大將の講演、續いて映畫（國黨）を上映する

市内各デパートでは五色の色も鮮に飾り立て思ひ思ひの催しをなし客足を呼んでゐるが大丸では十六日より滿洲帝國展覽會を開催する

京都市會
奉迎文可決

【京都國通先發記者發電】今日ぞ滿洲國皇帝陛下をお迎へ申上げる京都市は驛前に建てられた奉迎アーチから市内軒並みの日滿旗は春風にはためく、この日午後一時奉迎のため緊急開催された、京都市會は滿洲國皇帝に捧呈さるべき奉迎文を滿場一致可決、淺山市長以下各市會議員一同は禮装の威儀を正し刻一刻と迫りつゝある皇帝陛下の御着に胸をときめかして御待ち申上げつゝある

セーラー萬年筆を
皇帝に獻上

株式會社「セーラー萬年筆」阪田製作所では兼ねてより、新京ダイヤ街西山萬年筆店主西山稔氏の提案により、同製作所製作の萬年筆を滿洲國皇帝皇后兩陛下に獻上御嘉納を願はんものと機會を考慮してゐたが、今回の皇帝陛下御訪日に際し宮島に行幸の砌り、廣島縣特産品として高級蒔繪入りセーラー萬年筆を特に縣知事の手を經て獻上する光榮に浴することゝなつた、尚同製作所では此の他に今回御訪日の隨員及び接伴の人達の全部にも高級萬年筆を贈呈することとなつた

市公署總務處長
植田貢太郎氏正式決定

第一五次國務院會議は十五日午前十時から國務院會議室に於て開催され、鄭國務總理以下各大臣出席、先づ皇帝陛下御訪日中の御動靜報告あつた後缺員中であつた市公署總務處長を左の如く決定した

監察院審計官 植田貢太郎
任新京特別市公署總務處長
敍 簡任二等

植田新處長略歷

今日の國務院會議で新京特別市公署總務處長に任命された植田貢太郎氏は明治四十五年高松商業學校卒業、同年滿鐵入社撫順炭坑機務課を振出しに、大正七年本社經理部會計課、大正十二年經理部主計課第二部主任となり總務班主查を命ぜられ、昭和五年參事になり同六年監理部管理課計畫班主任となつたが、退社滿洲國入りをした人で大同元年には監察院審計官（薦任一等）となり、今回拔擢されて處長に任ぜられた文字通り立志傳中の人で帝都市政の世帶を預つて今後の活動は大いに期待されてゐる

"私のモットーは
仕事が第一"
植田氏眞情を衝いて語る

監察院に植田氏を訪へば氏は正式通知を未だ受けてゐないからと前置きしつゝ舊知の記者に胸襟を開き且つ滿洲國の眞情を衝いて左の如く語つた

今度の話は私として再三おことはりしたのですがどうしてもことはり切れませんでした、それは滿鐵時代から永い間財政關係の仕事をやつて來ましたし、監察院審計官としても私ははじめは各省公署、それから各都市の財政整理審計に當つて來たのです、まあそういふことからと、新京特別市として千萬圓程度の三ケ年に亙る大きな計畫を進めてゐるため、そこには財務上の問題もありどうしても私といふことになつたやうです又滿人側でぜひ私をと望まれた由を聞きました、任甚だ重くひとへに各方面の御援助を仰がねばなりませんが私のモットーは仕事第一これまでもそれでやつて來ましたし今後も仕事で行きます

しづかな語調が熱して來て氏の全人格的壓力といつたものがにじみ出る

市政特に社會政策的な方面に於いても私としてはかねて抱負を持つてゐます、國都新京が實質的に本當に立派なものになるやう大いに努力したい、皆さんの批判も仰ぎたいと思ひます、どうかよろしくお願ひします

英東洋艦隊
櫻の日本訪問

【横濱國通】英國東洋艦隊司令官ドレーヤ提督坐乘の同艦隊旗艦ケント號（一萬噸）はスループ艦フォールマス號（千六十噸）を從へて十四日遠く上海から横濱へ入港した、兩艦の來訪目的は駐日英國大使クライブ卿夫妻、大使館附海軍武官ビヒアン大佐夫妻等を乘せ松島、函館等を訪れるためで十五日午前九時一行を乘せて出港來る二十二日再び横濱へ入港して二十七日迄碇泊し乘組員一同大いに日本の春を樂しもうと言ふのである

遂に外銀團に縋る
中國銀流出防止策
宋子文氏外銀首腦者を招致
健全通貨政策援助を懇願

【上海十五日發國通】支那金融恐慌は米國銀政策の强行の前に災を防ぐべく當局屢次の彌縫策も遂に何等の效果なく今にして翻然たる銀政策の決定を見ざれば支那財政は破綻必至の情勢にあり、中國銀行董事長にして支那金融の實權を掌握せる宋子文氏は遂に此窮情救濟には第一條件たる現在の上海在銀を今日以上減少せしめざる方策を執り健全通貨政策を堅持する事のためには各國の好意ある援助にすがる外に道なしと言ふに決し十四日日曜にも拘はらず午後一時からフランス租界の私邸に在上海外國銀行首腦部を招請して重要會議を開催した

日本側からは三菱銀行支店長吉田政治氏、正金支店長矢吹敬一氏、英國側からは香港上海銀行支配人ヘッチマン氏、麥加利銀行支配人マーレー氏米國側からは花旗銀行副支配人マッキー氏、フランス側からは東方理行支配人シュブルトン氏、並に中央、中國兩銀行から代表者各一名列席した

會議は約三時間に亙つて續行されたが、宋子文氏は先づ米國の銀買上政策の續行及强化によつて中國金融が重大なる危地に直面してゐる事及び之が對策として考へられる平價切下乃至は管理通貨政策は何れも現下の支那幣制の下にては結局支那金融の潰滅を招來するものである事を率直に披瀝し殘された唯一最善の支那金融救濟策は健全通貨政策を堅持するにありこれが爲には外國銀行筋の好意ある援助に依り銀の海外逃避を防止するより外無き旨を述べ、列席者の支持を懇願し懇談を重ねた結果外國銀行側は宋子文氏の懇願を容れて銀の輸出を中止し、宋子文氏の政策を支持し、支那の難關切拔けを援助することを約し會議を終つたかくて此重大會議は表面非常な成功を收め、しばらく上海銀の逃避を防止し得る事となつたが、狡猾なる英國側が果して利益の前に公約を守り得るか又疲弊のどん底にある支那金融界の現狀に當局が健全通貨政策に邁進し得るか一般に疑問符をつけて見られてゐる

佛の提訴を繞り
注目される聯盟理事會

【ジュネーヴ十五日發國通】聯盟理事會はトルコ代表司會の下に十五日午前十一時よりジュネーヴに於て開催される事となつた、ストレーザ會議に於て漸くその緒に就いた歐洲平和の工作は理事會を經て更に再吟味を受ける段取りであるが提訴覺書の字句に徴してもフランス政府の態度は頗る强硬であり加ふるに理事會はリトヴイノフ、ベネシュラの强硬派外交官の立役者が加ふる事となつて居るのでヒトラー總統が相當手厳しい缺席裁判を受ける事は略々確實と觀られ、フランス代表は左の如く會議の席上ドイツ政府の再軍備非難の强硬決議案を撤回するに至つたが、國際協約の一方的廢棄を基調とする規定事實外交には極度の不滿を示し斯かる事態の再現を阻止する爲適當の措置を講ずる事は理事會として當然の使命なる事を强調して居るから畢にドイツ政府の再軍備に對する道義的難詰に滿足せず更に何等かの實行的措置を要求するものと觀られる、フランス政府の方針として傳へられるところは聯盟規約第十條第十六條、第十七條の改正にあり、以上の主旨に基き決議案動議を提出するものと解される

提訴覺書字句に
獨政府對抗聲明書を發表

【ベルリン十四日發國通】聯盟理事會に對するフランス政府の提訴覺書が發表されるやその字句の峻烈なのにドイツ政府は頗る激昂し十四日夜左の如く非公式に對抗聲明を發表した

フランス政府は過去數ケ年間軍備制限の義務履行の誠意無きことを示した、各國の政府が軍備縮少の義務履行を徒らに遷延し而も何等の誠意を示さなかつた以上ドイツ政府の講じ得べき只一の對策は自ら明かである、フランス政府今回の覺書は全く此事實を看過し空論を弄ぶもので一顧の價値も無い

全國税務監督署長會議

全國税務監督署長會議は十五日午前十時より十七日まで三日間に亙り中央銀行クラブに於て開催されるが奉天、吉林、龍江、濱江、熱河の各税務監督署長中央側より税務司長代理田村國税科長、楊經理科長その他各關係官出席、税務行政刷新改善及び税務行政執行の成績につき協議されるが不合理不均衡なる營業税酒税その他各税の改善統一、治外法權撤廢後の日本人課税問題等滿洲國租税体系整備に關する重要問題が討議されるものとして注目される

偶語

兎角の文句はあつたが、いざやつて見るとそれほどでもなかつた西公園の入場料、本年もいよ〳〵けふから徴收される▼新京驛の入場料十錢に較べてこれは僅かに二錢は安いしかもこの金が一切公園の施設費に充てられるのだから大した文句が出ないはずだ▼汚い苦力の整理が出來てそれに少からず財源として浮び上るのだから一石二鳥の名案とはこの通りと、鯉沼地方係長いさゝか鼻高であるかどうか▼それにしても切角大枚二錢の入場料を支拂つたものゝ肝腎の潭月池がボートはおろか、まるつきり空つぽである、これでは公園の價値は半減、いやどう少く見ても二、三割方は下落してゐる▼こゝもと鴨打土木係長や千々岩土木主任の手腕にまつよりほかないが、この際何とか超特急で復舊方をお願ひしたい▼西公園で思出したが近く新設されるはずのプールが西部附屬地に偏してゐるので東部側から文句が出てゐる、まさか滿鐵の新社宅があるが爲ではあるまいが▼チト東部市民の氣持も買つてやつてよい敢て場所がないなどといはせぬ、糧棧家屋一軒も犠牲にすればプールの十や二十はなんでもないんだから

人事往來

▲倉知鐵吉氏（貴族院議員）十五日午後來京ヤマトホテル投宿
▲吉澤清次郎氏（駐滿大使館一等書記官）同歸京
▲榮厚氏（滿洲國中央銀行總裁）同
▲宇佐美喬爾氏（滿鐵鐵道部旅客課長）同來京ヤマトホテル投宿
▲金田詮造氏（同旅客主任）同
▲望月龍氏（奉天鐵道事務所旅客主任）同
▲福島築之助氏（同旅客係員）同
▲染谷保藏氏（本社代表、盛京時報社長）十五日午後ハルピンから歸京ヤマトホテルへ

社説

滿洲國文化政策の基調

その特質の存する所

滿洲國建國宣言のうちに言ふ「教育の普及を言へば當に禮教を是れ崇ぶべし」卽ち國精神の徹底化のためにこの理想に從つて諸施設が實行され、これに背反する總ての教材は排除され、他方これに合致するものはますます培養助成するに努めた。排外的教材や三民主義教材の排除は前者であり體育の獎勵、學校衛生の改善日本語の學習、孔學會、節婦孝子の表彰等は後者である。

舊軍閥時代の教科書には排外特に排日教材及び三民主義教材が頗る多かつたが、滿洲國政府は建國精神に基づきこれらの教材を一掃した、大同元年六月の民政部訓令に「我國創立以來已に三ケ月に達せんとす、各地學校の教務主宰員中には尙ほ未だ建國精神を洞悉せず、依然三民主義の覆轍を踏み濫りに排外教材を用ひ甚しきは靑天白日旗を揭揚し國體を侮辱するが如き事あるは民を法度に導き容るゝの道に非らず、各省區長官及特別市長は教育主管の官廳に對し所屬各市縣教育局に嚴命し、爾後務めて政府建國宣言の精神を貫徹し排外的教材に關しては切實に取締を行ひ以て民志を一にせしむるやう轉命すべし、任意に盲動し以て世人の耳目を困惑せしむべからず此に令す」と嚴命したのであつた。體育の獎勵についても「立國の要素は第一を國民と爲す、國民自體の强弱は國運の隆替に關すること實に重大なり」として體育振興方策を樹立、積極的にこれを進めてゐる。學校衛生狀況は兒童の健康に關する所重大であるから徹底的にその狀況調査をなしこれが改善を企圖してゐる。日本語の學習に關しては「聖門四科の中言語は德行に次ぎ政治文學の首に位す、蓋し言語を以て人事の本と爲し百行之に賴りて導從する所あればなり、我滿洲國の建國は友邦日本國の援助を得たること實に多し、爾後兩國國交の親善は偏に言語に賴り行はるゝなり」との見地から日本語を學科のうちに編入してゐる。孔學會の設立は、議會が崇禮を提倡し聖經を闡明し聖教を盛大にするを以て宗旨となすもの、これは王道主義並に國家が孔教を振興する精神と相合す」との理由で認可されたのであつた。節婦孝子の表彰は「新邦創立の初に當り宜しく禮教を昌明にし、風を移し俗を易へ以て綱常を肅正し國是を定むべし」との趣旨を以て勵行され來つてゐる。以上の如く滿洲國政府は、文教行政機關を確立し、此の機關を通じて舊軍閥時代の三民主義排外主義を基本とした教育方針の禍根を徹底的に除去し、國家文教の淵源を禮教に置き孔教の尊崇を以て國民陶冶の基本とし、これを教育機關に依つて徹底せしめんとするものであり、ここに新しい滿洲國文化の基調が置かれその輝かしい將來の發展が約束されてゐるのである

日本の新支那政策（中）

上海「ノース、チャイナ、デイリー、ニュース」所載

日本の難關

日支關係の改善を望まんとするいかなるゼスチユアも日本から示されねばならぬことは日本の熟知して居る所であるしかし諸君は同時に顏を叩き付けたり、頭を撫でたりすることは出來ぬ、そしてこのことは駐支公使有吉明君と外務大臣廣田弘毅君ほど良く了解して居る者は少ない、彼等は支那側の怒氣の冷靜になることを待望しつゝ、これまで數歲月を空費し來つたのである彼等の忍耐は遂に酬ひられたやうである

然るに果して日本は支那の善意を現實に獲得し得たりや否や、若しくは果して支那は又第一に一方日本と他方英、米との間を決裂せしむべく、第二には、表面上日本の好意に迎合することに依つて、英、米の恐怖までではないにしても嫉妬を挑發して、英、米の信用（クレヂット）を獲得せんがために日本の好意を迎へんとするに過ぎざるや否やの點に關して、日本の有力者の意見が分れて居る

蔣介石は支那の傳統的以夷制夷政策を弄して居る迄である

とは、時に少くとも支那に在住したことのある日本人及び勿論陸軍の意見である

不安の他の原因

更に又日本の政治家は、この時に際して、日本と米國との友好關係を惡化せしめることを心配して居る、彼等は支那の友誼なるものが、英、米の猜疑心と惡感情を誘發するに値するものとは信じない、何となれば、支那の友誼なるものは斷じて誠意あるものでないからである

外國の大衆は、日本は陸軍に作つて推進せられて居る――日本の外交政策は軍部の指導者の獨裁する所であると思つて居る、彼らの謬論の疑惑を解かなければならない、陸軍が獨自の行動を採つたのは、只滿洲の原野と上海に大砲の音が轟き渡つた時だけのことである、今日の厖大なる陸海軍豫算が議會を通過したのは軍部が國家を獨裁してるからでもなく、日本人の最大多數が重大危機に彼等が直面して居ると確信して居るがためである

然らば彼等は何が故に然るか？、國際聯盟とケロッグ、ブリアン不戰條約の調印とを嘲弄し、軍事的暴力を以てアジア地圖を變改し、好地點上海を東京大震災の一部を想起せしむるに足る狀態に陷れたのであるから、いかなる國民と雖も、容易に之に對して惡感を抱くことは當然ではなからうか？

さて現下の日本の對支政策の指導者如何の問題に復歸しやう、實際日本の陸軍は常に鞭を手にせずして、支那とは何事もなし得ずとの思想であるが、然るに陸軍には今恐らく岡田內閣のどの閣僚よりも骨のある外務大臣が控へて居る廣田弘毅氏は、日本の對支政策の處理について彼れ獨自の思想を有し、彼等は鞭を使用しやうとは考へて居ない、事態が惡化する場合には、一部の先撃の如く軍部の獨裁に追從するよりは、寧ろ陸軍と戰ふであらうとは、彼れの周圍の人々の確信である

鹽業會社の設立　關係會社で協議

東拓案を基礎として

日滿經濟ブロックの前途に一つの暗影を投ずる對滿關係行き惱み中の五年業中の一つ滿洲に於ける鹽業會社設立案は最近再燃し近く參加會社たる東拓、滿鐵、日鹽、日本曹達旭ガラス等の間に具體的協議が進められる機運となつて居るが今回の案（資本金五百萬圓）は東拓案に基づくもので當初案よりは採算確實性を帶びてゐる、これが實現すれば東拓が中心となる筈である

朝鮮水產會　滿洲進出に大馬力

【京城國通】朝鮮水產會では全國罐詰業大會を開催する外今秋滿洲國の樞要地で鮮內水產物の宣傳卽賣展示會及び之に相前後して滿洲國內に於ける鮮內水產物取引希望者を以つて觀察團体を組織し鮮內に招待する等大に同國への水產物進出、認識擴大等に發する（ママ）が更に慶北水產會同道內各水產團体と共同主催の下に慶北浦項で水產物共進會を開催、その他漁業組合、職員養成長期講習は五月から十月まで六ケ月間に亘り（五月より七月迄三ケ月は各漁業優良組合に配屬し事務並に事業の實地講習、八月より十月まで三ケ月は水產會館で技術講習）を行ふこととなつて居る

新疆を蔽ふソ聯の勢力

盛世才はロボット？

米國系資本の上海ザリヤ紙は最近新疆省より歸來せる者の談としてソ聯の新疆省侵入事情を次の如く述べてゐる

盛世才が馬仲英を倒して政權を樹立して以來新疆省は秩序を回復したけれども盛世才は白系露人を以て軍隊を編成し、トルキスタンの赤軍將校アレクセイ、ヤルワエフ、同參謀長ステファンが新疆に來て居り、省內の各都府をはじめ小部落にも殆んどソ聯の商品の見られぬ所はなく、不思議なことにはそれらの商品はいづれもソ聯內より安い、約二萬人の白露人がゐるが大部分はコサックである、また迪化にはロシア文字の看板のかゝつてゐる店が非常に多い

流出に惱む支那　銀輸出絕對禁止か

奉山鐵路車內檢査方懇請

米國の銀買上價格の引上げに伴ひ支那の銀流出はいよ〳〵拍車をかけられ、中央政府ではこれが取締りを嚴重にし從來は五十元までは携帶を許してゐたが今後は之を取り消して銀輸出の絕對禁止を行はんとする形勢が窺はれる、最近中央政府では奉山鐵路で車上檢査を行つたところ密輸違犯者を發見するに至つたので滿洲國に對し今後引つゞき車上檢査を執行したいからとこれが承認方を申込んで來た、これに對し滿洲國では、滿洲國の列車內で支那官憲が業務執行するは事を釀す怕れがあるから旅客上車の際に充分檢査されたいと回答を發したが萬一特別の事情でやむを得ざる場合は國境警察隊の許可を經て車上檢査を許す方針である

山海關稅關　郵局新廳舍

七月中旬竣工

【山海關國通】滿洲國山海關稅關及び郵便局は開設以來暫定的に支那家屋を改造、事務を執つて居たが今回工費九萬五千圓を投じ稅關及び郵便局合併廳舍を山海關南門外に新築する事となつた、新廳舍は建坪四百坪のL字型の二階建でL字型の角を入口とし佐側が稅關、右側が郵便局で兩者とも長さ三十五米、幅十メートル、高さ十メートルである尙新廳舍は奉天碇山組によつて七月中旬竣工の豫定である

營口紡績の火災

損害甚大の見込

【營口國通】十二日午後九時十五分營口舊市街營口紡績株式會社機械工場より發火、日滿兩消防隊急行消防の結果同十時鎭火した、原因は工場の棉花より發火したもので機械類を燒いた爲損害甚大の見込である

審議會委員

下馬評に上る人々

【東京國通】內閣審議會委員の第一次人選工作は十三日の四長老閣僚會議に於て愼重協議されたが、重臣、貴衆兩院民間の各方面より物色する委員は所謂大物網羅主義に依つて人選し、先づ重臣方面に於て齋藤前首相、山本達雄男の出馬を懇請受諾を得て審議會の二大支柱と爲す事に確定、他の委員も貫祿ある練達堪能の士にして當代一流の人物に白羽の矢を立て、委員候補の顏觸れ內定の上來る廿五日頃岡田首相の西園寺公訪問直後より本格的に之が委員就任方の內交涉を爲す事となる模樣であるが、其後下馬評に上つてゐる主なる委員顏觸れ及び各方面の委員割當概數は大体左の如くである

△重臣方面三名　齋藤實子、山本達雄男、若槻禮次郎男

△貴族院方面數名　水野鍊太郎氏、靑木信光子、阪谷芳郎男

△衆議院方面六名　政友三名鈴木喜三郎氏、山本條太郎氏、島田俊雄氏、民政黨三名川崎卓吉氏、賴母木桂吉氏、國同一名安達謙藏氏

△財界方面三名　馬場鍈一氏、土方久徵氏、鄕誠之助男

而して人選の最も至難視される調査局長官には河田烈、松井春生、吉野信次、池田宏、柴田善三郎の諸氏が下馬評にのぼつてゐる

皇帝御訪日の御盛事に特派されて（三）

東京にて　金久保通雄

櫻花撩亂と咲き誇る帝都にくり展げられた曠古の御盛儀―奉迎の熱誠は全都に溢れ、盡きせぬ感激のうちに日滿兩帝國を不可分に結ぶ礎石はうち築かれた

輝く御入京の日六日は來た、午前十時東京驛と御旅館赤坂離宮の間の沿道は早くも生徒兒童を始め各團体合せて五十九團体約四萬五千の奉迎者が警蹕と人垣をつくつた、朝來の烈風に手にした五色の滿洲國旗がはためいてゐる、電車の車上に、團々の先頭に、ビルディングの屋上に今日こそ全都は日滿國旗で塗りつぶされた、この日記者は東京驛御車寄前に奉拜を許され皇帝陛下の御到着を御迎へすることが出來た、御召列車の到着に先立ち　天皇陛下には午前十一時十分宮城を御出門、親しく盟邦の皇帝陛下を御出迎への爲東京驛に行幸遊ばされるや、やがて同十一時二十九分近衞儀仗兵の奏さるる嚴肅なる滿洲國々歌がれいろうと響き渡り相次いで打ち出された皇禮砲が春空に轟く裡に御召列車は到着した、今ぞ東京驛頭に　天皇皇帝兩陛下の固き固き御握手が交はさせられた歷史的瞬間である、やがて十一時四十分皇帝陛下には長途の旅の御疲れもなく御機嫌いと麗しく　天皇陛下の御見送りの裡を美々しい四頭立て御料儀裝馬車に秩父宮殿下と御同乘、林接伴員の御陪乘にて東京驛御車寄御發、沿道民草の隨喜渴仰のうちを御旅館赤坂離宮に向はせられた、うち振る滿洲國旗に籠めた五百萬市民の赤誠は必ずや皇帝陛下の御胸に通じさせられた御事と拜察する、無蓋の儀裝馬車の車上に爽朗たる御英姿を間近く拜した記者はたゞ〳〵感激に咽んだ

◇

御入京第一夜の帝都は眩ゆきイルミネーションの裝ひが夕刻からしと〳〵と降り出した春雨に照り映へてこよなき不夜城を現出した、宮中豐明殿の御晚餐會に成らせられる皇帝陛下の御通りを拜觀する市民の群は雨にそぼ濡れて四谷見附、赤坂見附、宮城前に押寄せた、御旅館赤坂離宮は煌々と御窓から灯が輝き御前庭の噴水がくつきりと闇に浮んで拜觀者に嚴肅な感銘をあたへてゐる、やがて皇帝陛下が御歸還遊ばされるや、在京滿洲國留學生二百餘名が手に手に提灯をかざし五色旗を先頭に御旅館前におし寄せた、女學生もみえる、感激に燃えた彼等には雨などは何でもないのだ

「我們的皇上」と一人が歡呼すれば一同は聲を揃へて「皇上萬才」と絕叫する「新天地有了新滿洲」と滿洲國々歌の合唱が續く暫らくは雨に濡れて感激の合唱だ、かくて御入京第一夜は靜かに更けてゆく

問題の火星

觀測の結果は六月頃發表

【京都國通】生物が棲息し運河もあるといふ神秘の星火星は二年二ケ月振りで十二日の夜地球への近い距離に達した近い距離といつても九千萬キロの遙か上空に小さく輝いてゐるのだ、京都花山天文臺の觀測によると火星では今が秋の初めで丁度地球の九月初旬の氣候で赤道附近の一帶に靑々と植物が見える、運河もはつきりと見える、雪は南極の方に見えるだけ、所謂火星人など見えやう筈もないが收穫は充分で此の觀測の結果は六月頃までに纏めて發表すると天文臺長山本博士は頗る上機嫌であつた

奉天鐵道事務所で接客座談會

奉天鐵道事務所では旅行シーズンにおける旅客手小荷物及び旅館關係業務に對する改善意見及び希望の交換を行つて旅客取扱の萬全を期するため來る十六、十七兩日午前十時から新京ヤマトホテルで旅客手小荷物關係接客業務座談會を開催する出席者は鐵道部宇佐美旅客課長、四方田旅館課長、その他鐵道事務所側關營業課長以下三名、新京驛酒井助役以下四名、その他列車區列車食堂營業所、新京ヤマトホテル關係者等二十餘名

大東溝沖で密輸船追跡

【安東國通】海邊警察隊大東溝分隊では十三日拂曉大東溝沖で密輸船五隻を發見、直に警備艇で追跡の結果一隻を捕獲したが右は新義州生れ安東縣第四區獅子溝崔秀元（三二）外一名で引越荷物を裝ひセメント、揮發油、石油等三百餘圓の密輸を企ててゐたもので他の四隻をも入れれば相當多額の密輸を防止したものといはれてゐる

滿洲國辭令

航政局屬官　美代淸一郎
給月俸（百十五圓）
郵政管理局屬官　齋藤忠七
給五級俸
同　奧谷敏雄
（各通）同　甲斐治義
同　村松秋雄
給月俸（八十五圓）
郵局屬官　金澤源吾
給四級俸
同　松尾繁喜
給七級俸
同
給月俸（七十五圓）　近藤信次郎
（以上何れも三月一日附）
交通部屬官　岩波勳壽
休職を命ず（一月十九日附）
北滿特別區公署事務官　白川正雄
免官（一月十一日附）

特殊警務隊長　深井直一
依願免官（二月二十二日附）
參議府秘書局秘書官　渡邊正作
依願免官（三月二十九日附）
（各通）文教部理事官　堀越英二
同　古閑亮
依願免官（四月一日附）
（各通）栗原美能留
同　岡本茂
同　大島弘夫
同　松岡平市
任民政部理事官敍薦任二等（四月一日）
任哈爾濱特別市公署屬官敍委任三等（康德元年十二月二十二日）　三井佐雄
任哈爾濱特別市公署屬官敍委任二等（一月四日）　佐治俊彥
任哈爾濱特別市公署屬官敍委任一等　伊奈勝重
任哈爾濱特別市公署屬官敍委任二等　尾關捨高
任哈爾濱特別市公署技士敍委任二等　豐川毅太郎
任哈爾濱特別市公署技士敍委任三等（三月二日附）　駒村善雄
任民政部技士敍委任二等（三月二十一日）（各通）　渡邊彌一郎
國都建設局技士　竹澤吉信
同　小花貫一
陞敍委任一等（各通）　技士　村越市太郎
同
陞敍委任二等（三月一日）
民政部理事官　栗原美能留

給二級俸　民政部總務司勤務を命ず　民政部理事官　岡本茂
給三級俸　民政部地方司勤務を命ず　民政部理事官　大島弘夫
給四級俸　民政部警務司勤務を命ず　民政部理事官　松岡平市
給五級俸　民政部警務司勤務を命ず（以上四月一日附）
哈爾濱特別市公署屬官　三井佐雄
給九級俸　哈爾濱特別市公署總務處勤務を命ず（康德元年十二月二十二日）
哈爾濱特別市公署屬官　佐治俊彥
給七級俸　哈爾濱特別市公署總務處勤務を命ず（一月四日）
民政部屬官　天喜
給九級俸　民政部警務司勤務を命ず（二月一日）
哈爾濱特別市公署屬官　伊奈勝重
給三級俸　哈爾濱特別市公署都市建設局勤務を命ず
哈爾濱特別市公署屬官　尾關捨高
給五級俸　哈爾濱特別市公署都市建設局勤務を命す
哈爾濱特別市公署技士　豐川毅太郎
給六級俸　哈爾濱特別市公署都市建設局勤務を命す
哈爾濱特別市公署技士　駒村善雄
給月俸百五圓　哈爾濱特別市公署都市建設局勤務を命す（三月二日）
民政部技士　渡邊彌一郎
給月俸百十五圓　民政部土木司勤務を命す（三月二十一日）
國都建設局屬官　落合康
同　技士　林樹枝
給一級俸（各通）　國都建設局屬官　桑本亮輔
同　技士　小花貫一
同　瀧本定治
給三級俸（各通）　國都建設局屬官　淺井初
同　水越國三郎
同　長野潔
給四級俸（各通）　國都建設局屬官　和泉與三次
同　小田繁夫
同　井上武一
同　吉永實
給月俸百十五圓（各通）　國都建設局技士　佐々木心策
同　須崎荒太
同　種村岩雄
給七級俸（各通）　國都建設局屬官　古田長三
給月俸九十五圓　國都建設局屬官　吉田保四郎
給八級俸　國都建設局技士　友廣鐵郎
給九級俸　哈爾濱特別市公署屬官　丁大山
康德二年三月一日
休職を命ず
熱河省公署屬官　神保一夫
康德元年八月二十七日
復職を命ず
康德二年一月三十一日

商況欄（四月十五日後場）

金銀市況

●上海標金　前引 [illegible]　寄 [illegible]
●大連金鈔票
現物　寄付 [illegible]　引 [illegible]　出來高 [illegible]
四月廿八日限　寄付 [illegible]　出來高 [illegible]　五月十三日限
●大連鈔票銀大洋　現物 [illegible]
●奉天國幣對金票　現物 [illegible]　▲四月廿八日限 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替　▲日本向　第一回　第二回　第三回 [illegible]
▲倫敦向　第一回　第二回　第三回 [illegible]
▲紐育向　第一回　第二回　第三回 [illegible]
▲大連爲替　▲上海向 [illegible]　▲假合向 [illegible]
▲阪神日米爲替　第一回 [illegible]
▲阪神日英爲替　第一回 [illegible]

株式相場

▲大連株式（短期）
▲奉天株式（短期）
五品新　豆新　鈔新　鐘新　日産新　滿鐵新　二新　滿新　東新　鐘新　日産新　大新　五品新　豆甲　電乙　同鐵　滿新　二新　東拓　東亞　日晉　日興　滿毛　優先 [illegible]

特產市況

●大連大豆　●同豆粕　●同豆油　●同高粱　●哈爾濱大豆　●同小麥 [illegible]

新京取引所市況（四月十五日後場）

●大豆　現物（一石値段）　定期（混合百斤値段） [illegible]
●高粱 [illegible]
●鈔票對金票 [illegible]
●國幣對鈔票 [illegible]
手形交換（十三日） [illegible]

東滿

吉林神社境内に櫻の苗木の植つけ
—北海道からの良質百本—
三年後には開花する

【吉林支局發】吉林神社の境内に大和魂の表徴である櫻花を咲かせようとの美しい思ひ付きから當地富田牧場主富田良平氏が北海道から三年生の櫻の苗木百本を取寄せたのが此程到着したので早速同社に寄贈を申出で、大同林業にゐる專門家の肝煎りで十一日境内の周圍に植ゑ附けた、右專門家の談によると同苗木は相當良質のもので昨年に小學校に植ゑ今や酷寒を凌いで新芽を吹かうとしてゐるものと略ぼ同質であるから、少くとも八割位は育ちて三年後には開花を見るであらうとの事である

吉林憲兵分隊員丸崎上等兵戰死
滿人家屋搜査中匪襲を受く

【吉林支局發】吉林日本憲兵分隊着電に依れば本年一月四日特殊任務を帶び哈爾濱新市街憲兵分隊に派遣中の吉林憲兵分隊丸崎俠夫（二七）上等兵は○○派遣兵八名と共に十三日午前四時頃○○○日本守備隊東南方二キロの地點に侵入せる通匪の疑ひある滿人家屋を搜査中突如同家屋内に潛伏せる十數名より成る匪賊の狙擊を受け交戰三十分の後遂に之れを擊退四散せしめたが此の戰闘に於て敵中に躍り込み奮戰を續けた右丸崎上等兵は不幸敵彈の爲め左前胸部貫通銃創其の他身に數彈を受け壯烈な名譽の戰死を遂げた、敵の損害は遺棄死体四、其の他多數の重輕傷を出した

伍長進級 勳功の數々

【吉林支局發】右丸崎上等兵は戰功により即日伍長に進級された因に同伍長は廣島縣山縣郡加計町出身で昭和八年四月一日新潟縣新八田憲兵分隊より吉林憲兵分隊に轉任其の後大小匪賊檢擧に其他治安維持に良く任じたことは勿論一昨年八月十二日拉吉線磐石縣城が約四百名の大匪賊團の包圍襲擊を受けた際の如きは敢然最前線に進み敵十數名を斃し右大腿部に名譽の貫通銃創を受けたこともある當地憲兵隊の殊勳者で今回の同君の戰死は戰友一同は勿論各方面から痛く惜しまれて居るで又遺骨は十五日午後六時九分吉林着列車で拉賓線經由戰友に護られ悲しく凱旋することになつてゐる

慰靈祭執行 憲兵分隊で二十一日頃

【吉林支局發】遺骨十五日夕着吉故丸崎伍長の今は無き英靈に對する慰靈祭は來る二十一日頃當地憲兵隊主催の下に盛大且嚴肅に執行される豫定

額穆縣の集團部落 完成の域に達す

【敦化支局發】額穆縣嶺東地區官地以北の北大秋、花樹林子、塔拉站、及び二道溝の四ケ所の所謂額穆縣集團部落ブロックは縣當局の必死の努力によつて着々完成の域に達してゐるが遲くとも五月一ぱいには完成する見込であるが額穆縣下の集團部落は他に類例を見ない完全なもので匪影を沒する所謂王道樂土の實現も目睫の内にあるものとして注目されてゐる

中銀敦化支行の新舊更任

【敦化支局發國通】中央銀行敦化支行派遣員塚田永治氏は今回奉天附屬地支行詰に榮轉十九日新京經由赴任する筈であるが後任として瀧川龜一氏が決定した

吉林實業廳で農事教育實施
模範農を收容して

【吉林國通】吉林省實業廳では疲弊せる農村の補强工作として各部落の模範的青年を選拔して省立農事試驗場に收容六ケ月間農耕に從事せしめる傍、農事の改良、副業等につき實地指導並に簡易農業教育を授けて歸鄕の上は部落農民の指導者たらしむる事となり永吉、磐石、九臺、額穆、伊通の縣長に對し、各五名宛の模範農民の推薦方を依賴する事となつた

張耀軒君 内地留學に出發

【敦化支局發】敦化農務會長張錫恩氏長男張耀軒君（二六）は今回東京明治大學に入學十二日午前三時半發國際列車で日本海經由友人知已多數に送られて出發したが敦化縣出身内地留學生はこれが最初である

圖們魚菜市場許可 十四日より公募開始

【圖們國通】圖們魚菜市場では昨年九月會社設立の許可申請中の處、三月廿二日附を以て許可の指令に接したので、直に發起人會に於て準備を進め十四日より株の公募をなすに決定した、資本金十萬圓、一株五十圓で應募申込期間は四月十四日より十六日迄事務は圖們銀河街の圖們魚菜株式會社創立事務所である、尚同會社は京圖、圖寧沿線の奧地への生活必需品の供給中心地に在るので將來中央卸市場となるべく期待されてゐる

圖們人口 三萬八百卅四人 —三月末調查—

【圖們國通】領事館警察署の三月末調查に依る圖們の人口は左の如し

△内地人戸數　一、三二六戸
男　三、〇三一人
女　二、一七八
計　五、二〇九
△鮮人戸數　五、五三八
男　一二、七四四
女　一一、三四九
計　二四、〇九三
△滿人戸數　四六九
男　一、〇〇三
女　五二一
計　一、五二四
△外國人戸數　四
男　七
女　一
計　八

以上圖們總人口三萬八百卅四人である

大同殖産の匪襲

【吉林支局發】去る十二日午前三時十五分樺甸縣城東方約十七、八里の大同殖産老金廠事務所へ紅軍に屬する約二百名の匪賊が襲擊し來り同所警備兵と交戰約一時間の後東北方に逃走した、此戰闘に於て大同殖産側は左の如き死傷者を出したが敵の損害は不明である

戰死　技手小舟井豫備伍長（腹部貫通銃創）
重傷　矢野軍曹、川浦技手（共に腹部貫通銃創）
輕傷　伊方、戸坂警備兵
其他鮮人死者一名、人質一名

右は其前日川本警備隊長が滿人請願警察隊員十一名を引率して夾皮溝に出張せし隙を襲つて襲擊したもので、敵匪は先づ建築材料として集積してあつた枯草に火を放ち火の兵舍に燃え移れる混亂に乘じ急射擊を開始したもので、其際滿人請願警察隊員廿二名は逸早く逃走した爲め一時は非常な苦戰に陷つたが岡野小隊長以下十四名の必死の奮闘によつて漸く之を擊退したのである急報に接した樺甸縣の安田參事官は同地より直に百名の警察隊員を急派し、又吉林の大同殖産事務所よりも十三朝林顧問が病軀を押し廿名の警備兵を率ゐて救援に赴いたが敵匪は滿軍正規兵と殆んど同樣の服裝をなし數日前より附近に集結して機會を覗つて居たものであると、尚大同殖産本社からは「老金廠匪賊襲擊に當り寡兵を以て良く奮闘し匪賊を擊退し警備の責任を全うせしことを謝す」との電報を老金廠事務所に寄せて大に激勵する所あつた

南滿

奉天千代田公園に音樂堂の新設計畫
市民の要望で本社に申請
今夏までには實現

奉天に音樂堂を設立し夏の夕に涼を趁ふ市民の慰安に、アマチア樂團の發表にと、市民バンドの結成も近い折柄又音樂堂建設の聲が昂まつてゐるが地方事務所においては昨年來之が建設を計畫し工費約三千圓を計上滿鐵本社宛に申請略内諾を得たが未だ實現の運びに至らず再び申請の上近く實現する筈であるが場所は千代田公園内現スタンドを改造し今夏迄には實現すべく力を入れて居るが建設の曉には市民が夏の夕に涼を趁うての散策に社員會バンド、市民バンド、アマチユアバンドの奏でるメロデーが公園内に流れる事であらう

營口石油販賣會社設立

【營口國通】滿洲國石油專賣の結果、營口にても元捌會社を設立する事となり、從來の元賣捌人出資にて資本金四萬圓の營口煤油總批發股份有限公司を設立、董事長に元亞細亞石油代理店經理沈詔廷氏が就任した

おどろくべき支那の在銀流出額
政府の態度如何？

【奉天國通】最近日滿支三國間の經濟提携運動擡頭、當局ではこれが實現に大なる期待をかけてゐるが、現在支那の經濟狀態は政府當局の救濟努力により恢復の一途を辿つてゐるに反し益々不況の度を增しつつあり過般米國の銀買上法實施以來在銀の海外流出一層激しく農工商を通じて不況のドン底を辿り昨年度貿易は之を反映し

輸出　五億三千五百七十三萬元
輸入　十億三千八百九十八萬元
合計　十五億七千四百七十一萬元

にして一九三三年に比し輸入一四%、輸出三〇%、總額に於ては二五%の激減を示してゐる、これを商品別パーセンテージに見ると輸入にあつては

生地綿布　三四%
晒染綿布　四七%
捺染綿布　六七%
其他綿布　五七%
綿製品　四七%
米　五五%
小麥　六三%
石油　五五%

輸出は

卵製品　一七%
生皮皮革　一八%
雜糧　五〇%
桐油　一三%
落花生　二九%
棉花　四一%
綿糸　二一%
錫　二九%

と悲慘すべき狀態で、一方銀の輸出入を見るに

輸入　七百四十一萬四千元
輸出　二億六千七百三十五萬五千元
出超約　二億六千元

といふ尨大な數字を示し一九三三年に於ては

輸入　八千十三萬五千圓
輸出　九千四百二十八萬九千圓

で輸出入略々同額を示してゐたが三四年度に於ては米國の銀法案實施によりかくも多數の銀流出を見るに至つたもので不況に喘ぐ支那經濟界の沈淪へと一層の拍車をかけつつある現狀で政府今後の對策は注目されてゐる

凱旋 美崎部隊

【奉天國通】昨年十月濱綏線國境警備に出動中の在奉靖安軍は幾多の武勳を土産に十六日その主力美崎部隊約八百名は美崎參謀長輸送指揮官となり午前八時卅分瀋陽驛着列車で凱旋する事となつた

省公署を新築 增築取止め計畫

【安東國通】曩に增築することとなつてゐた安東省公署廳舍は、增築を取止め現安東縣公署所在地四千坪の地に移轉新築することとなつた、現廳舍は之を新設する實驗中學校々舍に供し同校新築豫算十二萬圓と、廳舍增築費として認められた十八萬圓との合計三十萬圓で新築する筈で目下具體案考究中である

北滿

ハイラルの邦人小學校 校舍新設に決定
教育中心主義を高揚
民會、豫算に五萬余圓を計上

【ハイラル國通】ハイラルに於る日本人數は目下漸增しつゝあり、之に伴ひ日本小學校就學兒童數も昭和八年四月開校當時の十一名に比し、現在は五十八名といふ數倍の激增を見、從つて校舍並に施設の如きも甚しく手せまとなつたので當地民會では目下その對策に腐心中であるが、先づ十年度に於ては金五萬圓を投じて新校舍の建設を決定、中額二萬五千圓は大使館に補助を仰ぎ、殘額二萬五千圓は之を十年賦にて起債する事になり之が財源として遊興税を中心とする雜課税を千二百餘在留民に新に賦課する計畫を樹立するに至つた、尚小學校豫算は昨年度より倍加して一萬四千百廿五圓を計上の上教育中心主義のもとに民會の面目を高めつゝある

ソ聯人歸還 第二回輸送

【ハルビン國通】滿北鐵ソ聯從業員第二回團休歸還輸送は十四日午後十一時半臨時列車で行はれるが第二回は元副稽核局長エギアザラヤンツ、元車務處長イワノフ兩氏以下准幹部級八十六名同家族三十一名並びに追放露人二十二名、同家族二十七名、合計百六十六名である

蒙古人の教員代表 春の日本へ
教育視察に

【ハイラル國通】蒙古人子弟教育の任に當る教育家に對し文化日本の眞髓を納得せしむる目的のため今回當地蒙古衙門では囑託本願寺布教師石橋岱城師同行引率のもとに市立小學校富昭榮、省立第一小學校金壽鵬、第三小學校恩克巴圖の三校長を興安北分省教員代表として新京經由京都、東京方面の日本文化觀察に派遣することに決定、一行は十三日ハイラル發約一ケ月半の豫定で渡日の途についたが、皇帝陛下御訪日中の友邦日本の風物が彼等蒙古教育代表の眼に如何に映ずるか關係各方面から期待されてゐる

接收役員へ 引揚げソ人の謝狀

【ハルビン國通】去る七日ソ聯從業員引揚げ第一陣としてソ聯に歸還した元副理事長クヅネツオフ氏以下パンドーラマリギノフ、ドロンゴフスキー氏等は本國に歸つたが一行は引揚げに際してハルビン鐵路局側の好意に對して大いに感謝してゐる、一行を代表しクヅネツオフ、パンドーラ氏の名をもつて佐原局長、平田委員長に宛て「私等の引揚げに際して示された好意に深甚なる感謝の意を表します、お蔭樣で無事本國に引揚げる事が出來ました、私等は永久に此の御親切を忘れることは出來ません、在哈の皆樣へ宜しく御傳へ下さい」との意味の鄭重なる感謝狀を寄せて來た

舊北鐵從業員 本國引揚げ

【ハルビン國通】舊北鐵從業員家族及び追放露人百七十三名は十四日午前十一時卅分發臨時列車で滿洲里經由で歸國の途に就いた、驛頭にはルデー元管理局長始め多數の見送りあり混雜を極めた

危險！虚榮心の強い子や辛抱の足りない子

▼……春は不良になり易い

春は不良少年少女の一番にはびこる時、又これまではそんな風に見えなかつた子供の、さうした不良への仲間入りするのもこの時―子を持つ親は一番油斷の出來ない時です、しかし不良少年といつてもかつぱらひやせつ盜といつてもそれは決して特殊なものではない本來の

人間 心の裡でも多分にもたされてゐるものです其の中でも、特になりやすいといふ子―それは考への自由の働かない、まあ頭の惡い子、意志のはく弱な何をさせてもまた仕事を持たせても、所謂辛抱の足りないといふ子、それから虚榮心の強い子などといふのが最もなりやすいのです、どうぞ皆さんのお子さんたちの性格をもう一度よく見ていただきたい、そしてまだ心のきまらない、どちらにでもゆく

幼心 を惡の方にふみ込ませないやうに、それには第一に自分の子より（自分の子供は慾目でなかなか親にはわからないことが多いのですから）その遊び友達をよく見てゐていただきたい、自分の子供も大方はそれと同じことをしてゐるのですから、それから食物は十分に滿足させるやうた、幼い子には殊に食慾の誘惑は大きいものです、貧しい階級の子供に不良が多いといふのも最初そこから來ることが大部分なのですから、それから

子供 の「時間」にいつも氣をつけていただきたい、何かいつものこととちがふことをした時、第一にちがつてくるのは時間なのですから、學校の歸りがおそくなるとか、歸つてから又出かけてどこへ行つてゐたかわからなかつたりした時等は十分考へを持つて觀察すべきことです、しかし不幸にして我が子に不良の傾向を認めた時、かはいい我が子の惡いことはかくしておきたいのが人情かも知れませんが、それこそ最もよくないことです、なぜさうなつたか、身體のどこかに病氣を持つて知らずにゐてそれが原因をしてゐることもあります

學校 へ行つて勉强するのがその子には無理で、しかし行かないとうちで叱れる、で行つたふりをしてよそで遊んでゐるうちに不良になるといふこともありますし、その子の力以上の仕事をしひられる結果もありませう、ですからまづその原因についてよくよく調べた上或は專門家にまかせるかしてでもよい處置をとつていただきたいものです

新京高女（九）
内地旅行便り

京都―奈良

二十分小憩の後坂本の小さい田舍町のよく活動に出てくる樣な木製の長い棧橋を渡つて赤い船腹を出した白い思つたより大きい遊覽船に乘つた。白扇倒にかゝる東海の富士山と共に我が國山水美の双璧となへられる近江の琵琶湖は今眼前に廣々とした姿を表してゐる

おゝ　風景絶佳をもつて天下をうならす琵琶湖を日本一の湖水を私達は征服するのだ。叡山の北方に雪をいたゞきそびゆる比良山、東北に魏然群峰をぬく伊吹山上、昔、日本武尊が東征の歸途妖神の毒にふれ給ひし所と聞く、眼に映る秀麗な山はもの言はず、たゞ一人毒に苦しまれた尊の御有樣如何ばかりか知る術もあらず、年を重ねる事二千年恨み深きその伊吹山、空腹に戴いた晝食はホツペタが落ち相だつた

湖上の風が船の速力で一層强くデツキに立つてゐると凉し過ぎた。賤ケ岳七本槍で有名な賤ケ岳、東海の富士山に面影似たる通稱近江富士、木曾義仲の古戰場で一帶の松原哀れを誘ふ粟津ケ原等を遙かに眺め坂本を出て一時間船は湖水の狹い部分を通つて石山についた。

又だら〳〵道を歩いて小さな小ぢんまりとした驛舍で小一時間列車を待つた

三〇秒停車なので列車がホームにつくももどかしくテスリにしがみつく樣になつて乘りぎゆう〳〵おされ乍らやつと車中に入り込んだ、まつたく鮨詰だ、その裡にどうにかかうにか京都についた

驛前にもつて來てあつた荷物を受取り、あはたゞしく奈良行の列車に乘つてホツとした七重、八重霞たなびくうちに千古の夢を秘めて立ちならぶ建築物、大宮人の櫻かざして逍遥したであらふ道々、ものさびた奈良―

現代の、昭和の奈良はどんなになつてゐるだらう、想ひを遠く一千年の昔にはせた人々を乘せて、列車は奈良へ〳〵と野越え山越え林をぬけて、疾驅する

靜かな奈良の町を通つて猿澤の池の畔の宿舍についた

猿澤の池が新京の西公園の池よりも小さかつたので「なあんだ」と思はず聲を發しさうになる、今日は何所も見物しないので、皆思ひ〳〵に町にでかけたり、入浴したり、通信をかいたりして貴重な旅行の一時を出發以來始めてのゆつたりとした氣持で過したこゝでは奉天高女の旅行團に合ひ、舊友和泉さんの聰明な顏も見出され、思はぬ會合に偶然に起る不思議さをしみじみと感じたのであつた

（鴨田みよ子　河端康子）

朗らかな小父さん

今日の献立

〜〜朝〜〜　△若めと白魚干の清汁＝若めはざく〳〵に切り、白魚干と一緒に清汁に入れます

〜〜晝〜〜　△牛蒡の信田卷＝牛蒡を油揚げに包んで煮込んだものです、牛蒡は糠水か白水で軟かく茹で、油揚げの長さに切つておき、油げは輕く叩いて一枚に切り開き、ざつと湯に通して前の牛蒡を卷き込みます、三所くらゐを干瓢（塩揉みして）で輕く結んで鍋に並べ、煮出汁をひた〳〵に注して、砂糖と醬油を加へ、落蓋をかけて、煮汁が半分くらゐに煮詰るまでとつぷりと煮含めます一つを三つくらゐに切つて盛りつけます

〜〜晩〜〜　△炒肉片＝豚肉は薄く細かに切つてラードか胡麻油でいため、玉葱と筍は細く小口切にし、木耳は水にもどし、せんに切つて茹でて全部豚肉の後でよくいため、湯を被るくらゐに加へて豚肉を入れ、暫く煮て鹽、醬油、味りん、または酒と砂糖で味をつけ、味の素を少々振り込み片栗粉大匙一杯ほどを水溶きして入れ、どろりとなつたところを深皿に盛つてすすめます、支那料理の美味しい煮物です

婦人の便秘癖は
運動不足から
朝起きたら微溫湯を……

婦人百人のうち九十人までが便秘に惱んでゐるといつてよいでせう、健康体では一日に二度乃至三度腸が働くものでありますが斯樣に完全な通じのある人は殆どありませんでせう、これは食物が餘り固化し、精分が尠く加ふるに身体の筋肉が弱つてゐるため起るのであります、便秘を癒すには此れ等の原因を除くのが必要であります

肉卵や牛乳は固化食物であつて完全に消化吸收されますから殘滓物が尠くこの爲に腸の收縮が起りません、此れ等の食物は現代生活の大部分を占めてゐるので、もつと大量の粗末なものを攝らなければなりません

之に相當するものは野菜類穀類であつて、ほうれん草キヤベツ、アスパラカス、麥、挽燕麥の穀等であります、此不消化の部分が腸の内容を固くしないやうに保ち腸壁の筋肉がじゆ動するやうな刺戟を起します、メリケン粉や精製した穀類には鉄を加へて取り食物の腸管で固化しないやうに水を飲む事が必要であります、寒天は多量の水分を吸收し之れを保持しますから、食物に混じて攝ると便秘を防ぐ效があります

如何したら腹の運動を支配する筋肉を强くすることが出來るかと言ひますとそれは何よりも運動です、運動をしなければ殆んど常習性便秘は治るものではありませんし、これは又中年期の人々に起る腸の不活潑を防ぐ爲にも是非必要であります

運動では戸外運動が最もよいものであることは言ふ迄もありません、朝食前が便秘防止運動に最もよい時間であります、先づ朝起きたら微溫湯を一杯か二杯飲みます、飲み難かつたならば味をつけるために少量の食鹽かレモン汁を加へます、斯うして便秘を防止することによつて貴女のお顏は若々しい色澤と健康美に輝いて來るわけです

映畫と演藝

本社後援
雪洲一座
愈よ本日より

早川雪洲一座は好劇ファンの待望裡に愈よ今十六日より三日間に亘り本社後援の下に記念公會堂に於いて蓋を開けるが、上演脚本は左の通り（毎夜六時より前賣券發賣中）

第七天國（二幕）　オースチンストロング原作、早川雪洲脚色並に演出　舞台裝置　井上弘範

女優と詩人（一幕）　中野實原作　高峯明演出　舞台裝置　田中良知

天晴れウオング（三幕）　ダウイツト、ベラスコアクメツト、アブダテ原作、早川雪洲脚色並に演出　舞台裝置　田中良知

―寫眞は早川雪洲―

帝都キネマ上映
ドロレス、デルリオの
ワンダバー

月の中ばだけに所謂第一線級の作品がすくないが、蒲田の「生さぬ仲」日活の浪曲トーキー東家樂燕の「召集令」新興の「七寶の柱」等の大物が顏を並べてゐる、洋ものは帝都キネマの「ワンダバー」だけ、各館の番組は左の通り

▲新京キネマ―東家樂燕の「召集令」市川正二郎の「武士道うらおもて」其他

▲長春座―岡田嘉子の「生さぬ仲」、林長二郎の「菊五郎格子」前後篇

▲帝都キネマ―ドロレス、デル、リオの「ワンダバー」阪東妻三郎の「雲切り閻魔帖」桂たま子の「七寶の柱」

居睡りする人の多くは白米中毒です
近頃喧しい白米毒の正體とその豫防法

一體、吾々が食物を攝るのは身體の生理機能に必要な榮養素を攝取する爲で、その榮養素とは含水炭素、蛋白、脂肪、無機物、ビタミン類の五種に大別されますが、今日わが國民の

主食 とする白米は、昔のやうな玄米か精米の程度の少かつたものではなく、すつかり精白してゐます爲に、甚だ榮養素に乏しく、カロリーの源泉となる含水炭素を含むだけで、身體に最も必要な他の有機物、無機物及びビタミン類等は殆ど含有してゐません。爲に、ビタミンBの不足から種々の病氣を惹起します。

例へば、種々の胃腸病や食慾不振がビタミンBの不足によることが多く、結核に對する抵抗力も弱めて、發病を促す場合もあります。又、血液の成分、作用が圓滑を缺くため、諸器管の機能が不完全になり、老廢物は鬱積を來し、衰弱や精力減退、早老、老死など、不知不識のうちにわが國民の

體質 を低下せしめつゝあるのであります

が而し單なる榮養素の缺陷のみならず、恐るべき毒素をさへ含んで、從來ビタミンBの缺乏より起るといはれた白米病も、むしろその毒素による中毒だともいはれ、その正體が何であるか、判然極めないながらも、久しくわが榮養學界の論爭の種となり、多くの學者によつて研究が續けられて來たのであります。

處が、漸く最近に到り、この毒素の正體が、理化學研究所の岩田元兄博士によつて發見され、リゾレチシンと名づけられましたが、これは血液を破壞する强烈な毒素を持ち、金魚などですと、その水中に萬分の一のリゾレシチンがあつても、一時間位で死に到るといはれ、また鳥類が白米病に罹ると、綠糞が出ますが、これは血球が分解されて、色素が還元されて糞に出るからだと、いはれてゐます。

國民 恐らくは、わが國民に結核とか胃腸病、脚氣等の病氣が多く、の體質が低下しつゝある事實も、白米の榮養缺陷ばかりでなく、このリゾレシチンの影響も大いに關係あることでありませう。然るに、この强烈な毒素が急劇に吾々人體に作用しないのは、

この毒素を中和、分解する酵素の一種レシターゼBが吾々の胃腸に存在してゐる爲だらうといはれてゐるのですが、然し、一般新陳代謝機能の衰へ―特に消化器病や結核時の全身衰弱の時の如きは、體力の回復を計ると同時に、少くとも白米を常食する限りはレシターゼBを補給して、レゾレシチンの毒素を防ぐ必要があります。

それには、レシターゼBを豐富に含む若素（わかもと）の如き純正へーフエ菌劑を服用するが何よりですが、殊に若素（わかもと）にはレシターゼBの外にも、その他十數種の酵素を含み、衰へた代謝機能や胃腸機能の働きを旺盛ならしめ治病的効果を持つのみならず、

不足 せる榮養素―ビタミンBをはじめ、A、D、E、および脂肪、蛋白、アミノ酸、グリコーゲンといふ樣な優秀な綜合榮養素をも含有してゐますので、白米食による榮養の缺陷を防ぎ、體力精力を增進して、抵抗力を强める効果があります上に、肝臓グリコーゲンの含有率を昂めますので、體内の毒素を解毒する働きも旺盛になります。

消化不良によい料理
白魚の茶碗蒸

材料　白魚五十匁、小蕪六ツ、鷄卵二個、鹽、味の素、砂糖、煮出汁三合、醬油、淺草海苔若素「わかもと」四錠

料理　白魚は薄い鹽水で洗つてから熱湯に投じ、ざつと洗つて水を斷つておく。次に蕪の皮をむき、四ツ切り位にして、少量の鹽を加へて軟かに茹でゝおく。そして丼に鷄卵を割り入れよく溶して、そこへ煮出汁と小匙一杯の砂糖を入れ鹽と醬油と味の素で味を調へ若素（わかもと）四錠を潰して漉し入れてから、蒸茶碗の中へ前の白魚と蕪を入れ、その中に玉子汁を加へ、蒸器に納め、約十五分間位蒸してから取り出し揉み海苔をふりかけて與へます

疲勞の原因と「その防止法」

人間は毎日ある餘裕を持つて生活しなければ、今日も精一ぱい、明日も精一ぱいの生活を續けたのでは、病氣になるより外に途はない―とは、醫學博士戸田正三先生が、その健康法で述べられた言葉ですが、實際今日の疲勞が翌日まで持越される樣な生活では、活動力が殺かれ、仕事の能率は低下するは勿論、その疲勞が積り積つて、老衰を早め

抵抗力の減退から結核等の危險症に陷る事も珍しく ないのであります。

が、それかといつて、複雜な近代社會に於ては、疲勞せぬ程度の安樂な生活を許される人は極めて少數で、むしろ生活上疲勞は當然の現象ともいへますが、然し、注意次第ではその豫防が決して不可能ではありません。

この疲勞といふ現象を一口に説明しますと、これは人體の新陳代謝のバランスが狂つて、精力が消耗されたもので、新陳代謝といふのは、體内の榮養分が、呼吸で吸入された酸素のために、炭酸ガス、水、アンモニア、水素等に分解され、呼吸や汗や尿等によつて、體外へ排泄される作用であり、また、その消耗を補ふために、食物から攝つた榮養分を體内組織に同化させる作用等の總稱で、主として食物中の含水炭素が分解したグリコーゲンが原動力となつて成されるのです。

故に、身體を激しく使へば使ふ程、新陳代謝作用が昂進し、多量に含水炭素が消費されますが、これは肉體的な勤勞に限らず、

精神的の勤勞の時でも同樣で、彼のマイヤン博士の 實驗によりますと、頭腦の勤勞時は、休養時の二倍以上も、グリコーゲンが消耗されるといはれて居ります。

處が、このグリコーゲンが含水炭素から分解して、新陳代謝に利用される爲には、ビタミンBの力を借りねばならぬ事が、最近の研究で判りました。即ち、勤勞時の精力が續かず、疲勞し易いのは結局ビタミンBが不足する爲だとも見られる譯で、この意味から、勤勞精神を昂進し、疲勞を未然に防ぐためには、新陳代謝の源泉たるグリコーゲンと共にビタミンBを補給し、且つ食慾、消化を昂めて、一般食物の榮養素をよりよく利用することが何よりですが、それには若素（わかもと）の服用をお奬めします。

と、いふのは若素（わかもと）の主菌へーフエは生物中隨一といはれる豐富なビタミンBを含有しまた精力原として直ぐ役立つグリコーゲンを始め、心身の健康に必要な凡ゆる榮養素を殆ど網羅してゐる上に、十數種に亘る活性酵素が含まれてゐて、胃腸の消化を助け、食物中の榮養素の吸收をよくするのみならず、全身細胞に活力を與へ、諸器官の機能を昂進させるからであります。

榮養と育兒の會は

我國民の健康增進と、乳幼兒死亡率の遞減を目的に設立せられ、其の付屬事業の一として世界的に名高い若素（わかもと）を一日數錢に充たない低廉の實費、即ち二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓で頒布され、當地の藥店でも取扱つて居ますが、由來、有名藥には類似品の續出するのは免れぬ所、殊に若素（わかもと）は取次口錢が少きため、利益のみを追ふ藥店では、また効果に大差なしとて他の類似藥を勸めますから御注意を―名稱や外觀が似てゐても製法や原料は專賣特許で優秀な微生物活性劑ですから、若素（わかもと）は絶對に他で眞似ることは出來ません。「榮養と育兒の會」の所在は東京市芝區芝公園大門（振替口座東京一七〇〇番）

療養體驗
食慾がつき神經衰弱輕快

（熊本縣）戸川徹三

私は二十六才の若者ですが幼年時代から胃腸の弱かつた事を記憶してゐる（中略）。人並の食物を取れば、きつと惡かつた。吐く、下す、胃痙攣で半死半生な目にあつた事も何回か知れない。

然し、中學時代は不健康乍らどうやら、かうやら過したが、家事に就くやうになつてから、自由が過ぎて不攝生な生活に陷り、胃腸を酷く害し、これに原因してか、頭までボンヤリになり、氣が短くなり、物事にはすぐ倦怠するといふ具合。胃腸の方の症狀は食後に胸やけがし、二三日も便秘するかと思へば、下痢があるといふ狀態で、逆も不快な日を悶々と繰返す樣になつた。勿論、この間には相當養生もしたつもりだが、然し豫期した程の効果は得なかつた、處が「錠劑わかもと」の廣告に（中略）早速求めて服用して見ると確に効く樣だから力づけられ續けてゐるうちに、今迄に嘗てなかつた食慾がつき、榮養不良の爲か、頭髪が薄くなりかけてゐたのが、以前より黑く堅くなつた。（中略）勿論、顏も血色が出て來た。神經衰弱の樣だつた頭腦も、長い惡夢から覺めた樣に爽快になつた。（後略）

學藝欄

滿人文藝紹介

楊婆さんの日記（下）

丁玲女士作　川内堯譯

‖五月二十一日‖ゆふべ一晩よく眠れなかつた。夢に大男を見阿桂を見た、阿桂は泣いてゐた、其を大男がなぐつた。大男は大門の所で餓ゑて倒れてゐた、泥と竹とで造つた大門だ、田を眺めて泣いた、あの一年のやうだつた、雨が降らず。土は裂け、一家中の者が太陽の火のやうにもどかしがつてゐた雲もない空を仰いでそれから又口をひろげた田を眺めて、池にすら水は無い、皆が田の傍で泣いた、隣りの茅屋にゐる伯父さんも同樣だつた、遠い所も近い所も同じだつた。今思ひ出してもぞつとする。

御飯の時、孫さんが私に五圓下さつた、きつぱりと子供のやうにではなく言はれた。「楊婆さん、何故又泣いてゐるの？、どんなことにも泣いてはいけないと私言つたぢやないの、氣を落してはいけないわ、此處に五圓あるから家に送つておあげなさい、これからはあんたのために方法を考へてあげませう、私が本來は人を使ひたくない人間だつてことをあんたは知つてるわね私達二人仲がいいものだからあんたは私から離れられないし私もあんたを出せないんだわ、それに私達は自炊してるんだから私一人でよそから取るにしても同じやうなもんだわ、だから私はあんたを引き留めてるの、ただ私のあげる給料は少なすぎるわ、あんたは足りないわね、あんたがよそに替るにしても難しいと思ふわ、だからこれからは着物や靴下などのつくろひ仕事を探して來てあげるわ、あんたに用事がない時は私と一緒に來てもいいわ、若し着物が縫へなければ私が敎へてあげるわ、私は小さい時習つたの、そうしたらどう？」私は又涙が流れた、私は子供のやうになつてしまつた、私の心の中で本當に彼女に感謝した、私は何にも言へなかつた、そして彼女は私に御飯をついでくれた私は心の中で決して彼女から離れまいと誓つた、彼女は本當に私によくしてくれる

‖五月二十二日‖

彼女は果して私に着物と靴下を持つて來てくれた、何處から持つて來たのか私は知らない、彼女は階下の家主に知られないやうにと言つた、私も勿論話しはしない彼女はきつと困るのだ。今日は多く書けない。今日は仕事がとても多い。

孫さんはこの二三日何でか忙しさうでいつも家にゐない五圓の金はとつくに家に送つた、私は安心した氣持だ

‖五月二十五日‖

今日は又斷つたばかりで縫つてない男の服を持つて來た孫さんはうるさく縫ひ方を話した、若し私がうまく縫つたら、今後こういふ仕事はまだ探せるといふのである、私は心配しなくていいと、つくろひ終つたのは彼女が持つて行つた、彼女はやはりお孃さんである、でも彼女は本當に苦しさに耐えられる、彼女は貧乏を怕れない。

此二三日彼女が家にゐるのは少い何處に行つてゐるのか知らない、彼女は無駄遊びをする人ではない。それにいつもよく來た人達がやはり來るが、家にゐないと聞くと失望した樣子を現はす、時に出會つても數句話をして歸つてしまふ、一体何をする人達なのか、私が聞き込むのを怕れてゐる、孫さんはいい人なのだがこれだけがいけない

いつも私に煙草や果物を買ひにやらせ、私を追ひ出して私に知られまいとする、一体何が大事なのか、私は何も話は出來ないのだ、孫さんだつてもういい年だ、容子もいい彼等は、彼女がきちんとしてゐるのを喜んでゐる、だが何故が孫さんはこのことを話すのを嫌がる、彼女は要するにきちんとしてゐるのだ、でも彼女はやはりお嫁に行かねばならない、どうしてもこれらの人達の中から一人を選び出さなければならない（完）

（映畫評）

東京の英雄

涙のある社會斷層圖

電車の走る廣つぱに土管が夕空をのぞかせてゐる子供たちがそのお父さんらを乘せて來る電車に萬歳を叫ぶ、だが突貫小僧のお父さんは歸つて來ない、ばあやに聞くと偉い人は歸りが遲いのですといふ「おれのお父さんは自動車で歸つて來るんだぞ」と威張る、そこには「おれのお父さんだつて夜業があれば遲いんだぜそして七十錢貰ふんだぜどうだ凄えだらう」といふ子供もゐる、お父さんは二人の連れ子のある後添ひを貰つた、インチキ事業が破綻して彼は行方をくらます、母親は今は一人で働かねばならぬ、女給にも女中にもなれない、子供には「クラブに勤める」と言つてチヤブ屋を經營する、十幾年經つ、娘（桑野通子）はお緣に行つたが歸された、コロッケがつくれないからではなかつた、母親の職業のためだ、娘も弟も家出する、殘つた長男（藤井貢）がやつと大學を出て新聞記者になる、そして見出したのは街の天使になつてゐる妹だ、更に與太者になつてゐる弟だ、セントルイスブルースがなる酒場に弟は「兄貴ぢや手向ひも出來ぬ」と言つて去つてゆく、その弟が仲間に殺される、彼は又父親が歸つて來てインチキ事業を始めてゐるのを見出す、父であらうとその罪は曝かねばならぬ特種賞は母へ渡す哀しい孝行だ號外の音は彼にさびしい——

このやうな物語である、なめらかな筋とうるほひのある場面場面である、ここに示されてゐる、吉川滿子の貫目がそる、俳優達は樂々と演じてゐる清水宏の野心無き佳作であると言へる、東京の英雄といふ題名は大げさ過ぎるが、哀しい現代風景は巧みにつかみあげられてゐる、通俗ものとして上々の部に屬する（耶麿）

爆撃機

滿洲に女流作家出でよ

僕はこの年になつても興味をもつて「若草」とか「令女界」とかの投書欄を讀むのだが、滿洲の女流諸君の振はないことはどうだ。アマチュアはアマチュアでいいんだ。ロシアの新聞や雜誌がいはゆる報告文學を求めてゐるのも職場からに外ならぬ。僅かに「令女界」の四月號、それも通信欄で犬のやうなものを見付けた

×

▼滿洲の令女ファンの方々、めつたに投稿なさいませんのね。大いに滿洲つ子ぶり發揮しようぢやありませんか。モチこれから私がんばりますわよ。（滿洲、潮洋子）

×

意氣や可なりである。これがニキビ面の少年の變名だつたりしたら嫌味だが、潮君が女性なら、ぜひ頑張つてほしい。それとともに滿洲の新聞や雜誌にも大いに出すことだ。小生ら紹介の勞をとるを惜しまないよ。敢へて若き女性諸君の奮起を望む（T、O生）

短距離競走に於けるスタート技巧と缺陷の矯正方法

—中—

正しく用意の姿勢がとれたか否かを觀察せんとする時には側面から注意して觀れば一見してわかる、用意の姿勢が兩肩がスタートライン「出發線」に對して大体垂直角度を保つて居られる姿勢であれば、その用意の姿勢は正しいのである、垂直以上に前へ深い角度になればなる程手の負擔が過重を立證して居る姿勢に外ならぬのである

反對に垂直の角度より鈍くなると手の負擔が輕減される代りに、後足の負擔が過大になつてくる、負擔が過大になれば出發に際しては勢ひ、後孔の壁面を強く蹴らねば出發が出來ぬから、一步目が跳び上る結果が生れる事を知らねばならぬ、兩肩を保てる位置が兩手と垂直の角度と謂つたがこれは大体の基準である事を知つて置いてもらい度い、個腕の強い步者は幾分垂直より深い氣味を示すものがあるが自分は垂直說を固持したい

既述の惡癖は總て、用意の姿勢の不完全さから起る惡癖であるから、その矯正の方法は自ら悟れる であらう、先づ「用意の姿勢」を觀察せよ

用意の姿勢が正しく保れて居つても、第一步目より力強く且つ迅速に發足せんとする意識が、余りにも濃厚である場合も又跳び上り易い、その誤つた意識と氣持ちから、正しい技巧を棄すものがある、然しこの癖のある走者は精神的に正しく指導すれば、極めて矯正し易い、氣持良き且つ迅速な出發は、正しき用意の姿勢と正しき意識の集中から生れることを熱知しておいてもらひ度い、次に用意の姿勢を採つた時の正しき心理を述べよう

短距離競走は決して短い競走ではない發足の第一步目から最後の一步まで文字通りの全速力で走り通すには余りに距離が長過ぎる、時に百米競走の時にこの事實を痛感するものである次に『良い「出發」をすることを心掛けよ』良い出發とは誰よりも迅速な出發を意味するのではない、全距離を最も迅速に走り導滑り出しさへあれば充分である、決して對人的のものでもなければ、局部的の迅速さ又一瞬時の遲速を爭ふものではない、正しい技巧の表現反復に據つて表れる速度に飽くまで信頼して戰を進めるべきである出發及發足に強味があつても過信せず強敵と顏を合すとも發足出發を焦らず、冷靜に正しい技巧の表現に意識を集中することに努力せよと謂ひたい、正しい意識の結論そして靜止の狀態（即ち用意の姿勢）から直に全速力に移る事は不可能である、極めて高速度を以て個轉し運轉し得る機械でも、初の動き出て と滑出しは實際に於いても緩かである、次第に力が加はりその速度も增大され最高頂に導れてゆくのである、短距離の者も同樣、發足の瞬時から直に最高速度に移ることは出來ぬ、外見的にはそう考察されても事實は否である、正しい意識の力を以て正鵠な技巧の表れに集中し得れば期待に添ふ迅速な出發が出來ることを信じて疑はない、心理的の方向へ轉向した筆を再び技巧方面に戻して文の項に入る、

『發足して直ちに身体が立つ走者』此の癖に慣されて居る走者は前述の跳び上つて發足するとは全然變つた原因が存在するのである出發の動作を起した後、急に腰部のみを前に出し過ぎる誤つた動作から、身体を早く立て過ぎるのである發足した後の數步に於ける正しき技巧は太腿を胸の方向に牽きつける動作の反復を強要して居る、太腿（或は膝頭）を上前方（一部胸の方向）に牽きつけられる動作が繰返され、始めて腰部か次第に前へ高くに釣り出され てゆくのである出發後の五六步から十步までは腕の正しき動作と相俟つた脚の動作が「主動」で、腰はそれに伴つてゆく「從動」の感じてあつてよいのである、主動の脚の動作と受動の腰部の動作とを顚倒して居るから腰部が早く前へ出過ぎて上體が早く直立してくるのである出發直後の數步は、膝頭を胸へひきつけることに意識を集中させる良き習慣を養成してゆくことが必要である

腰が前に出過ぎて身體が立つて來ると伸切らねばならぬ、後脚は出られた儘で動作が續けられる、此の動作が表れてくればその表れる速度は余程鈍くなつてくることを覺悟しなければならない

旅行便り（六）

新京商業學校

奈良から —第六信—

平安の都を出發して一時間十五分憧れの古都奈良へ到着した、停車場は天平時代の建築樣式で流石は佛都奈良だとの感が深く頭を打つ、電車はなくバスも少數しか通らないので何となく京都と異り物淋しい落着いた感じのする都だ

直に驛前の宿屋に荷物を預け奈良公園へと步を運ぶ、空には一點の雲もなく陽光は和かに照つて此の上ない旅行日和だ

先づ猿澤の池へ行く、池は濁してゐるが鏡の樣に水面は波一つ起らない、公園は一面綠の芝生に蔽はれて毛氈を布きつめてゐる樣だ櫻の花が咲き亂れその隙間に興福寺の五重塔が隱見してゐるのも何とも言はれない美觀で人を怖れずなれ〳〵しく近寄つて來る鹿を見ても奈良に居る事をつく〴〵感じる、興福寺、帝國博物館を見次に春日神社に參拜する、建築の色彩の配合の見事なのに一驚し又その燈籠の數が二千八百餘有ると聽いて更に驚く、參拜を終えて竹柏の鬱蒼として茂つてゐる森林や藤が大蛇の如く木に卷き付いてゐる間にある小道を通り猿丸太夫が「奥山に紅葉踏みわけ——」と詠じた時、腰掛けた石を見た實地に來ると秋ではないがその歌の意味がよく諒解され成程と頷かれる

……茶屋で晝食をしたゝめて、安部仲麿呂の詩を偲びつゝ三笠山を過ぎ東大寺に赴き、大佛殿を見る、身長五丈五尺五寸小指の長さ四尺四寸と言ふその偉大さに一行は唯々啞然として見上げ頸が疲れる迄見とれる

歸途、山門の有名な丹慶雲慶作の仁王を見る、名匠の手になるその姿の勇壯さも今尚二人の心意氣が殘つてゐる樣で又鎌倉時代の武士道華かなりし頃の有樣が眼前に浮び出て來る樣に思はれた

東大寺を最後として奈良の見學を止め宿に引き上げる

×　×

東大寺、興福寺等は藤原氏榮華をはかなき過去の夢として物淋しく其影を留めてゐるばかりたが然し建築佛像等には國寶が非常に多く古代の日本文化の發達を如實に物語つてゐる、矢張り歷史の都奈良は西洋文化に劣らない奥床しい日本化文の發祥地だとの感を我等に與へた「奈良七重七堂加藍八重櫻」

×　×

三時五十八分奈良に別れを告げ一路神鎭ります山田へと向ふ……（細井生）

〃新短歌〃

泉芳雄

○お前のもつれた髮毛近づけないで輕くとぢた瞳でかきあげてやる

○ギッシリと握つたナイフ、—俺をみつめてゐた俺の面貌—消えてしまつた

○ほんのりと蛇の目が頰を彩つて、花さけてくる娘ら、濡れた舗裝路

第十回句會々報

（新京ホトトギス句會）

野にも山にも春の光りが溢れて來た、吾々の身邊ことごとく句心をそゝるものばかりの好季である、例會日十一日の木曜日夜、三堂居に第十回句會を催す、兼題、陽炎、猫柳、席題踏青、花御堂、於次回例會は十八日（木曜日）午後六時半より、中央通、舍華寮三堂居に於いて兼題、風光る同好の士の來加を希望す

陽炎や放牧場のねむり手　如水
大江の岐るゝところ猫柳　佐知緒
遊女の一人はかよみ靑き踏む　同
踏や大格納庫まのあたり　牙城
引揚げてある河舟や猫柳　同
白樺の楊を渡りて靑き踏む　同
かんばせの乾きたまへり甘茶佛　筑前郎
アドバルーン揚れる町の甘茶寺　三堂
陽炎や今シグナルのおりし音　同
暮れそめし廊の中の甘茶寺　同
われあへる甘茶の杓を拾ひけり　降子
踏者や木履並べて草の上　同

◇學藝人消息◇

▲服部四郎氏　「ドルメン」四月號に「滿洲に於ける言語研究」を發表

▲奥村義信氏　「滿洲行政」四月號に「滿洲の自然、人間科學」を執筆

新刊

◇富士（五月號）五月本場所を前にして、富士五月號の「横綱ばかりの座談會」は、一寸思いつきである、相撲座談會も、現存の横綱經歷者ばかりを集めたといふのは余程の力業であつたらう、これと並行して、報知の相撲記者加藤進君の「夏場所好取組を語る」もファンの見逃せないものである

◇特輯「怪奇戰慄大實話集」も實話であるといふ興味以外廣く世界に話材を求めたところに、新しい着眼を感じさゝれる、印度洋の漂流南阿秘密境奇談と二つの海外物語に交つて三角寛君の「惡緣の娘」はあまりにも悽慘な日本娘の犯罪綺譚だ

◇名監督衣笠貞之助の半生物語を竹田敏彥君が例の器用な筆致で發表してゐる、あの多岐な生活を經て來た衣笠監督を今までどの雜誌も着眼しなかつた迂遠さをこの一篇「迷ひ子鷄」が笑つてゐるやうだ

◇長谷川伸の股旅物「三ツ角段平」正木不如丘の「春鶯囀」も新載物では光つてゐるもの

◇御來訪の滿洲國皇帝陛下に就て、川島浪速氏を煩はしたのは、筆者その人を得たりといふべきであらう

◇「晴曇」「奇人群像」「鐵の十字架」などの人氣ものは依然力強い魅力を放つてゐる明るく賑やかで變化の多いところ、この雜誌の身上はやはりその邊にあるのであらうか

飛躍する國際ネオン

國際ネオンのモットー

●光彩明美
●工事完璧
●價格至廉

純粋な材料と最新の設備、加ふるに良心的な工場員の努力は現場技術員の周到な工事法と相俟つて國際ネオンは飛躍する、價格の至廉は經營の合理化、能率主義の當然の歸結です

大日本麥酒株式會社御指定
麒麟麥酒株式會社御指定

滿電營業所にても御取次いたします

工場擴張と營業所新設御挨拶

飛躍する滿洲國と共に堅實に急速に發展を續けて居ります國際ネオンでは生產設備倍大擴張を機に今回左記の如く青年社員を以つて營業所を開設致しました。奉天と同樣に皆樣の限りなき御後援の程切に御希ひ申上げます

◎新京營業所
主任　辻野廣司（外四名）
新京祝町（新京キネマ前）
電話六九三七番

◎大連營業所
主任　上野一郎（外四名）
大連信濃町（大連會館隣）
電話(2)二八九一番

滿洲一の國際ネオン
生產能力　日產　四〇〇尺
全從業員　四五名
國際ネオンは質と量との凡てに於いて斷然滿洲ネオン界を征覇しつゝあります。

奉天青葉町五〇番地
國際ネオン奉天工場
經營者　遠藤左介
支配人　野崎清二
電話六三六八番
本社東京市京橋區木挽町一
電話（京橋）七七八四・五五七八番

自力で學資を稼いで 美事同文書院入學
新行内君の向學心は 惰弱な少年に一服の清涼劑

商業學校を卒業し更に向學心に燃へながら家庭があまり豊かでないため二年間銀行に勤め自力で學資をつくり本年四月美事上海東亜同文書院に入學した模範青年がある—本籍千葉縣三月まで滿洲國中央銀行に勤務してゐた新行内義見君がその主人公であるが、同君は昭和八年新京商業學校を卒業し更に上級學校へ進む志を抱いてゐたが家庭が同君の學資を貢ぐだけの餘裕がなかつたので滿洲國中央銀行整理課に就職爾來二ケ年間恪勤精勵行内では模範行員として上役や同僚から可愛がられ其の間に蓄へた千數百圓を學資として上海の東亜同文書院に入學したが惰弱な少年に一服の清涼劑として巷の噂に上つてゐる

右につき中央銀行整理課長公門氏は語る

新行内君は新京商業學校を出ると私の方へ就職、仕事は不動産に關することをやつてゐました若い者に似合はぬしつかりした模範青年でした、私としても惜しいので再三銀行に止つてやつて貰ふやう、勸めたのでしたが本人の希望通り今回同文書院に入學しました、學校を出てから再び行で採用するかどうかその邊りのことは申上げられませんが新行内君でしたらどこへ行つても立派にやつて行けますとにかく近來珍らしい青年でした

新京商業學校の受持某教論は語る

新行内君は在學時代からしつかりしてゐた、學校を出て職につくととかく勉強など忘れてカフエーなどへ這入りたくなるのが普通のやうになつてゐるのに自分で學資を働いて更に上級學校へ進むといふのは感心なものだ、學校としても同君のやうな生徒が出ることは實に慶ばしいことだ

滿洲熱を物語る 簡易宿泊者調べ
東北出身者が一番多く 職業もいろ〳〵

滿鐵新京職業紹介所附屬簡易宿泊所が開設以來、昨年十一月から三月までの宿泊者調べによると宿泊者の最も多いのは總計八百三十名のうち宮城縣の五十八名、お次は福島縣の五十二名、山形縣四十四名といふ順序で東北出身で占めてゐる、全然ゐないのは沖繩縣一つで北は樺太から南は鹿兒島まで各府縣に亙つてゐるのは内地の滿洲熱が津々浦々に及んでゐることを證據立てるものであらう、これを職業別に見ると工業及鑛業六十八名、土木建築七十三名、商業百四十一名、農林業百四十名水産業二十一名、通信運輸業百五名、雜業二百八十二名でその内譯で一等多いのは農園藝の百三十名、警備員百十二名ついで店員、軍人、官公吏などそれ〴〵七、八十名、學歴、年齢からいふと高小卒業四百二十五名、中等卒業二百六名、大抵は二十歳から三十歳までの働きざかりの者ばかりで四十歳以上は僅かに廿八名に過ぎない、同所の收容定員は百廿九名だが收容力に對する投宿歩合は開設以來八十%である

青年訓練所 保護者座談會 昨日公會堂で

新京青年訓練所では十五日午後一時より市内記念公會堂に於て本年靑訓所に入所すべき生徒の保護者を集めて座談會を催した、出席者保護者約二十餘名にて輪組理事久末氏より座談會開催の趣旨を述べつ いで新京靑訓主事辻氏靑訓の趣旨及新京靑訓所の教育方針を述べ保護者の理解を求め最後に關東軍野添中佐より關東軍としての靑年教育方針について説明し午後二時過ぎ閉會した因に本年度入所すべき新京靑訓該當者は約三百五十名であるが今迄の入所生は二百五十名に過ぎず餘り芳しい成績とはいへないので靑訓所では此際滿十四歳より二十歳までの該當者は振つて全部入所するやう希望してゐる

安東税關に對して 致死賠償訴訟 關員に殺された滿人遺族

【京城國通】平北新義州彌勒洞一ノ五朝鮮商業銀行新義州支店小使李昌麟（三一）の遺族は滿洲國安東税關を相手取り傷害致死及び之に依つて生じた損害賠償請求訴訟を十一日提起し衝動を與へてゐるが右原因は去る三月十九日夜八時頃前記李昌麟が安東税關の橋前を通行中同税關監視所員支納十三男に刺殺され、安東縣警察署司法主任小澤檢事事務取扱で屍體解剖の結果、傷害致死罪で加害者支納を豫審に廻附、滿洲國側では事件の重大性に鑑み撰議の末濱田監視課長を三月卅一日新京財政部に急派、善後打合せをなすなど問題が日滿兩國の國際關係に及ぼすだけその成行は凝視されてゐる

夜警殺し 近日中捕る？

十二日午後八時三十分頃和泉町夜警鮮人金容信を拳銃を以て射殺した犯人につき新京署では飛田司法主任以下刑事連は不眠不休の活動をつゞけてゐるが十五日午後に至り何物か端緒を掴みたるもの ゝ如く刑事室は頓に緊張犯人逮捕も兩三日の中と見られてゐる

ペスト防疫 現地機關擴充

民政部衛生司ではペスト防疫陣の擴充を圖る爲先般來發生地に於る各機關の擴充を計畫中であつたが愈々近く左の各地に隔離所、調査所、監視所を設置する事となつた、從つて之に從事する防疫官等も近く任命夫々派遣の筈である

△隔離所 農安
△調査所 哈拉海城子
△監視所 膽楡、開魯、乾安

倶樂部評議員會

新京滿鐵倶樂部では十五日午後一時三十分から地方事務所會議室で評議員會を開催、稲葉庶務係長始め各個所代表十七名集合、昭和九年度の倶樂部決算報告が稲葉氏からありこれを承認、終つて十年度豫算の説明、協議の上決定をみ同三時解散した

滿人街に聽く（九）
大道に運をためす 二錢で鉛筆二打
商埠地市場の晝うららか

ばくち好きの男が二人船に乘つてゐた、勝負を爭つてゐる所に船が難破して沈んでしまつたどうしたはずみでか二人は鯨の背に乘つかつて浮き上つて來た、そこでこの二人さあ一丁行かうとポケットからサイコロを取り出したといふ話がある……乘るかそるか、丁と半とに賭ける人間射倖の夢と慾望は消えない、滿洲國康民娯樂の抽籤結果が發表された日、記者は商埠地市場の一隅に寄り集つた大衆踏君が低廉な資本を投じて大道に運試しをやつてゐるのを見た、すなはち寫眞に見られるやうに大道に開店したテーブルの上に一から四十幾つまでの番號が書いてあり、その上に色々な賞品が載せてある、鉛筆一本或ひは飴玉五個から飴まつて、洗濯石鹸やら懐中鏡、シャープペンシル、インキ最高は實に鉛筆三十六本それにインキがおまけに付いてゐる、これをどうして定めるかといふと、店主が手に持つてゐる黒い袋の中にじやらじやらいはせて木の玉が這入つてゐる、それに一から十五までの數字を書いてあるのだがこれを手づかみで三個客が取り出すのである、その數字の合計が得られた番號である、それで一回幾らかといふと二錢なのである、銅貨二枚で鉛筆三十六本貰へれば惡くない何處かの商店の小僧らしい男「やるぞ！」と腰掛けて玉をつかみ出した十二と六と八だ店主「六つと十二と六で十八、十八と八で……」小僧「十八と八で……」何んともはやのどかな風景である、とたんに傍から聲あり「二十六だ！」店主「そう二十六だ！」二十六は飴玉五つだつた、記者も銅貨を持つてゐたので一番試みることにした、得た數字は十五と六と三、、これで鉛筆二本貰ひました「昭和の御代鉛筆」つてやつです、どうやらそう惡い運勢でも無いぞと思つたことです

滿鮮交驩競技 四月廿三日開催

【京城國通】滿洲國皇帝陛下の御訪日を機として朝鮮体育協會主催の下に來る四月二十三日京城グラウンドに於て滿鮮交驩陸上、籠球、排球競技大會が開催されるが要項左の如し

一、日程

四月二十三日（但し雨天順延）
午後四時、入場式（於陸上競技場）
午後四時半—六時半、陸上競技
午後四時半—五時半、籠球
午後五時半—六時半、排球

二、朝鮮側代表者

△陸上競技 監督松田節生、選手は四月十四日第一回記錄會成績により技術委員會之を選定す
籠球 監督金永述、マネージャー崔樹夏、選手牧山圭秀、李惠淳、金振秀、金鷹鍋、孫彼得、孫禧俊、廉殷鉉、金成奉、曹東煥、宋基宇、李性求、安台慶
排球 監督野方壽雄、マネージャー實島善儀、選手森口敏二、大阪正雄、越田一彌、新本幸雄、長谷川弘、金野久、山本秀夫、佐藤鐵夫、劉正華、前川洋、朴啓祚、安鐘浩、大平安一、岩本良夫、平井

三、競技法

陸上競技
種目 百米、四百米、八百米、千五百米、四百米繼走、走巾跳、棒高跳、圓盤投、砲丸投、槍投
出場規定 滿洲國側一種目の出場人員制限なし、朝鮮側一種目三名、採點せず但し各種目共三等まで正記錄（繼走は二等まで）
籠球 一試合
排球 三セット試合

日滿交驩競技 兩軍成績

【東京國通】日滿交驩競技會は十四日午前十一時卅分より神宮競技場に於て擧行されたが、先づ既報の如く入場式に次で正午圓盤投より競技を開始したが結果左の如し

△圓盤投
一、菊本 四二、〇三米
二、安非諷 四一、九六米
三、板橋 四〇、八三米
四、都盧賓 四〇、四七米

△八百米
一、富江 二分一秒五
二、星野 二分三秒
三、于希謂 三分四秒二

△百米
一、吉岡 十秒五
二、佐々木 十秒六
三、高野 十秒八

△五千米
一、唐國士 十六分十秒（同氏が出した從來の滿洲記錄十六分廿六秒八を破る新記錄）
二、奈良岡 十六分十一秒八
三、櫛木 十六分十五秒二

△槍投
一、赤羽 六二米七一
二、住吉 六二米〇三
三、郭席榮 四七米八七
四、吉田 四五米八一

引續き一時廿分より開始された籠球戦は廿九對廿二で滿洲側惜敗す

△スコア

日本		滿洲
二四		一四
五		一八

午後三時より廣田審判のもとに排球競技が開かれたが三對〇で滿洲側敗る

△スコア

日本		滿洲
二一		六
二一		五
二一		七

引續き四時より陸上競技の後半戦が行はれた結果左の如し

△砲丸投
一、高田 一三米九〇
二、都盧賓 一三米八七
三、安非諾 一三米〇四

△一千五百米
一、于希謂 四分廿二秒
二、露木 四分廿二秒
三、内田 四分廿二秒四

△瑞典繼走
一、日本（佐々木、吉岡、中島、富江） 二分一秒
二、滿洲國 二分一八秒

斯くて午後三時卅分盛會裡に競技を終了した競技終了後與滿洲國陸上監督は語る

日本は非常に强かつた、我々の成績は充分なものではない、日本選手から教へられるところは多かつた、これの成績を基礎に練磨を重ね明後年の東洋オリムピックにはフイリッピンに打勝つところまで行きたいと思つてゐる

商業團体 聯合會の陳情 奉天だけで取止め？
十五日新京聯合會へ來電

全滿商業團体聯合會第四次臨時總會は十四日午後一時から奉天商工會議所において開催されたが出席者は

森田信造君（營口）永井周三君（大石橋）萩岡彌次郎君（遼陽）井上四平三君（安東）吉岡正隆君（安東）鹽見圭造君（安東）中島右仲君（撫順）入江英一郎君（奉天）西尾一五郎君（奉天）加藤佐太郎君（奉天）森眞三郎君（奉天）野口鶴市君（奉天）加藤捨次郎君（鐵嶺）佐々木甚三君（鐵嶺）山口成淳君（四平街）齋藤源一郎（四平街）吉田廣盛君（新京）田村英雄君（新京）山下要八君（新京）松田益次郎君（新京）谷口益太郎君（哈爾濱）長命達夫君（哈爾濱）辻川佐助君（吉林）

の各地商業團体代表のほか、奉天二十六名、撫順十八名の有志列席者あり合計八十余名で鐵路總局消費組合設立計畫の中止方に關し陳情および關係當局に請願方につき未曾有の緊張裡に協議を重ね、各地代表から相當な强硬論も出でたが結局各地代表打揃つて十五日奉天鐵路總局にこれが中止方の陳情をなした後全代表は新京に來り關東軍、關東局滿洲國等に請願書を提出し、更に十七日ハルビンに赴き在哈中の宇佐美總局長に直接陳情をなして再び新京に引返して十八日記念公會堂において、これが最後の對策を決するため第五次臨時聯合總會を開催することに決定したが新京及びハルビンに於ける陳情に關しては十五日午後三時奉天商店協會から新京の聯合會本部に宛てこれが中止方の入電があつた、詳細不明であるが或は鐵路總局に陳情の結果慰撫せられたものではないかともみられてゐる、然し今次の總會における空氣からみて一時は慰撫されるとしても早晩全面的な反消運動の烽火が擧げられるものとみられてゐる

朝の五時から 野球の猛練習
理髪屋老頭兒組の敵愾心

運動季節に入つた新京、殊に野球熱はすばらしいもので、到るところにいろ〳〵なチームが出來上つてゐるが、新京理髪業組合の如き五日、十七日の公休日には有志が集つてキャッチボールを試み、去る廿日の公休日には大同廣場で青年組と老頭兒組が對戰「老頭兒組敵へなくも零敗しだが屈せず雪辱を期して此頃は毎朝五時と云ふにゴソ〳〵起き出して公學校の庭で練習を怠らず、これを知つた青年組も油斷は大敵とこれまた薄暗いうちからハサミ、カミソリ持つ手の荒れるのを厭はず泥だらけのボールやバットを持ち出してやはり公學校が近くていゝと出掛るので往々敵味方が顔を見合せて苦笑するやうなこともあるさうだ、敵味方とは云へ店の親方さんであり、若い衆である、理髪店主であり青年理髪士であるからおもしろい何れも早起きする

店員訓練所 第二回講習
店員訓練所第二回講習會は十五日午前十時から記念公會堂第一、第二集會室で開かれたが聽講者二百七十余名で前回より五十余名の増加をみ、辻靑訓所長「群を抜く道」神崎商業教論「會計の必要について」野副中佐「擧國一致」の題下に講演、講義あり十二時閉會した、なほ講習會閉會後野副中佐、辻所長、久末輪組理事、その他指導員出席の下に靑訓適齡者勤務商店主の懇談會を開き午後二時半散會した

だけでも藥でさアとなか〳〵熱がたかい……

寶石堂で ダイヤ詐取

本籍長崎縣高來部東有明町元敷島通り昭和堂方店員隈部勝利（三二）は昨年五月新京領事館にて詐欺罪三年間執行猶豫の恩典に浴して出獄したにもかゝわらず更に改悛の情なく昨年十二月末寶石堂より約三百圓のダイヤを詐取したのを手始めに市内料亭にて貴金屬約五百圓を詐取しこれを賣却しては酒色に費消してゐたこと發覺十五日午後八時頃市内徘徊中を新京署井上刑事に逮捕され余罪目下取調べ中である

馬と馬車を奪ふ

十五日午前二時頃本籍奉天省海城縣老爺廟八里堡生れ現住所市外三不管西興街十八宋芝行方客馬車夫李范春（二五）が客馬車番號一—四五五を牽いて來ると年齢三十歳位の滿人三名が其馬車に乘り大同大街を南に滿洲國財政部横にさしかゝつた時馬車の速力をゆるめさせ乘客の一人が矢庭に鐵棒を振つて馬車夫李の頭部を强打し人事不省に陥れその儘馬車と馬を奪つていづれにか逃走した屆出に接した新京領事館署では直ちに谷口刑事以下現場に到り徹宵犯人逮捕につとめたが今なほ手がかりがない損害は約二百六十圓である

西本願寺の 追悼會

市内祝町西本願寺では十六日午後一時三十分、同七時から二回に亙つて西本願寺婦人會々員死亡者追悼會を開き女囚監教誨師町田トシ子師の講演がある、演題は「人生價値の發見」

無學を騙る

朝鮮京城生れ無職金炳哲（二七）は新京富士町三丁目十番地旗城旅館に止宿中本籍全羅北道錦山郡珍山面石幕里生れ吉林新開門外二經路荻野組内金明中（二五）が就職の爲赴吉途中本年三月二十三日頃旗城旅館に投宿した時知合となり同宿中金炳哲は無學を裝ひ金明仲に對し親元へ金を要求の手紙代書を依頼し宛名だけは記載させず差出人新京曙町二丁目二四ノ四村田金吉方金明中と僞稱記載の上投函し金明中實家より金三十圓を電報爲替を以つて村田方に送金せしめまんまと詐取し市内朝鮮料亭有明方酌婦につぎこんで何喰はぬ顔してゐたがついに發覺吉林警察署よりの移牒により新京署犯人逮捕の手配中十四日午後十時頃市内徘徊中を張巡捕に捕へられた

自菊町會館で 人形芝居公演

新京滿鐵倶樂部では十六、七兩日午後六時から白菊町會館で大阪娘文樂人形芝居を主催する、入場料は場内整理として大人廿錢、小人十錢である

新京飛行場 主任異動

滿洲航空會社新京飛行場主任松井氏は十三日チチハルに榮轉、後任はチチハルから金井六郎氏が赴任した

寄附

鐵道北小松製材所主小松兼松氏は金二十圓を西廣場小學校父兄會へ奬學資金として寄附
▲鎧谷氏は金一封を子女在學記念として西廣場小學校父兄會へ寄附した

ダーソレル

この間月刊滿洲の城島が來てゐた氏が協和會の池邊畫伯と文藝家の某君で「月刊滿洲」も原稿料を出さにやいかんと大いにけしかけてゐた、そうしてこそ滿洲文化が向上するんだと某君が論陣を張るし池邊畫伯は「新京日日はその點大したもんだぞ」と證據を並べる、城島氏とう〳〵かぶとを脱いでそれぢや爾今一枚五十錢拂はうと言明した、畫伯に某君これはうまく行つたとあとで祝杯をあげたといふからもう稿料を貰つた積りなのである、しかしこれも滿洲文化のためであるから社長の言質をここに公的な紙面に證據として殘して置く

女人婆羅門

(舞臺上演 映畫化)

長田秀雄
西正世志畫

(百十七)

恐怖の影(三)

お藤は、夢遊病者のやうにふら／＼と起き上つて、あたりを見廻したが、その時はもう梅子も此室から立去つた後だつたし、薄暗い洋燈の光線が、ぼんやりと室内を照らしてゐたに過ぎなかつた。

(梅子がゐなくてよかつた)

と、びつしよりかいた生汗を拭きとつて、

(何と云ふ恐ろしい夢だつたらう　達哉さんが、あの人を鐵砲で射ち殺した――あの時の事を、そつくり夢に見たんだわ)

お藤は今更にぞつとして寢間着の襟を掻き合はせた。

× × ×

――明治四年春四月の事だつた。

お藤の夫中野四郎兵衛は、四月十七日、駿河國久能山で、東照宮の祭禮が盛大に催されると云ふので八歳になる梅子をつれて出立した。

四郎兵衛は「稽上では靜岡縣士族であるが、本當は長崎出役の長崎奉行所の役人だつた。維新の幕府瓦解の時、長崎最後の奉行河津伊豆守に從つて逃亡し、靜岡の山奥に隱栖してゐたのであつた。

さて、四郎兵衛は梅子を伴れて出立する時、

「藤太郎はどうしやう?」

と、お藤に云つた。藤太郎はまだ二歳になつたばかりで、梅子のためには弟にあたる長男であつた。

お藤は、胸に一物あつて、

「妾は行きたくありませぬ、貴方だけ梅子を伴れて見物しておいで遊ばせ」

二歳の藤太郎を伴つて行くと云ふのはお藤を同伴して行くといふ意味であつた――それを知つて、何故かお藤は辭退したのである。

「それでは、留守の所は確と頼んだぞ、鄕事書生の志賀を指圖して戸締りや火の元をよく氣をつけて……」

「畏まりました。貴方様もどうぞ充分お氣をつけ遊ばして……」

と、お藤が云ふと、八歳になる梅子が可愛い聲で、

「母上行つて參ります」

お藤は、梅子の手を引いて門口まで送つて出た。

門口には、既に書生の志賀四郎(長崎時代に若黨として傭はれた男)が立つて待つてゐた。

四郎兵衛は、若さに張りきつた四郎と、爛熟したお藤を一緒に殘して行く事は何かしら氣がかりであつたが、

「四郎、何分頼んだぞ」

と、云ひ殘して出て行つた。四郎は丁寧に頭を下げて、

「後の事はきつとお氣遣ひなされますな、下郎めが控えて居ります る」

まだ「下郎」が口癖になつてゐるのである。

「では行つて參る」

「充分お氣をつけ遊ばして……」

「母さま、行つて參ります」

「おゝ、むづかるではないぞよ」

四郎兵衛と梅子は後をふりかへり／＼遠ざかつて行つた。

門口では、お藤と四郎がいつまでもそれを見送つてゐたが、姿が消えてしまふと、お藤は四郎をかへりみて、

「四郎、今日からゆつくり話が出來ますねえ」

ほつとしたやうに云つた。

四郎はうなづいて、

「はい」

と、たゞ笑つたに過ぎなかつた。

× × ×

一方、中野四郎兵衛は梅子を連れて沼津を經て、靜岡に出た。そして舊士族の二三を訪れて、それらの人と一緒に、

「師神君の恩義を忘却せず、參拜致さうではござらぬか」

と、云ふ事になつて、久能山の東照宮へ參拜を濟ませた。

歸途、ちやうど清水港から伊豆の下田及伊東へ渡る船があると云ふ事を聞いて、中野四郎兵衛はその便船に乘込んだ。

それが死魔に魅はれるきつかけであつた。」